

小金井市性別による無意識の思い込みに係る 小中学生アンケート調査結果報告書

1 調査の目的

(仮称)第7次男女共同参画行動計画(令和8~12年度)を策定するにあたり、小中学生に「性別による無意識の思い込み」に係るアンケートを行い、計画づくりの参考とします。

また、子どもの意見表明の機会及び男女平等社会への意識付けの機会とします。

2 調査実施の背景と今後の展開

過去の経験や見聞きしてきたことにより形成される「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」は、本人が自覚しないところで、日々の判断や言動に影響を及ぼしています。様々な場面で女性の活躍が進展しているものの、依然として十分とはいえず、その要因の一つとして、性別による「無意識の思い込み」の存在が影響している可能性が指摘されています。

令和4・5年度に東京都が実施した調査では、児童生徒においても、「教科の得意・不得意」や「仕事の向き・不向き」に性別が関係していると考える傾向があることが明らかになりました。こうした結果を踏まえると、次代を担う子どもたちに対して、性別にとらわれず一人ひとりの意思を尊重することの重要性を、早い段階から着実に啓発していく必要があることがうかがえます。

そこで、小金井市の児童生徒における状況を把握し、今後の施策検討の基礎資料とするため、本調査を実施しました。調査にあたっては、東京都が令和4・5年度に実施した調査を参考に、調査票の設計を行いました。

分析した調査結果については、アンケート調査に協力いただいた市内小中学校を経由して小中学生にも共有し、子どもたちの意識改善に資するとともに、本計画に基づく政策を実施する関係部局においても活用を促すこととします。

3 調査概要

◇調査対象:市内公立小学校6年生 1,013人 市内公立中学校3年生 754人

◇調査方法:学校を通じてクロームブックによるWEB回答

◇調査期間:令和7年5月9日(金)~5月19日(月)

◇回収状況:

	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
小学校6年生	1,013	923	923	91.1%
中学校3年生	754	623	623	82.6%

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、本報告書内の分析文、グラフにおいても反映している。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- ◇図表中の「n(number of cases)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表している。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合がある。

4 設問一覧

問番号	設問内容	都(R4) との比較	都(R5) との比較
1	「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある	○	○
2	(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	○	○
3	「男の子だから」「女の子だから」と先生に言われたことがある	参考	参考
4	「男の子だから」「女の子だから」と親(保護者)に言われたことがある	参考	参考
5	「男の子だから」「女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある	参考	参考
6	「男の子だから」「女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言われたことがある	参考	参考
7	性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがある	○	○
8	算数(数学)・理科の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください		○
9	国語・英語の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください		○
10	家事の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください		○
11	育児の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください		○

●比較分析について

比較分析において使用した調査は次のとおりである。

①東京都：令和4年度性別による「無意識の思い込み」に関する実態調査

◇調査対象：東京都内公立小学校の児童（5年生、6年生） 10,020人（回答者数 6,622人）

◇調査方法：インターネット方式

◇調査期間：令和4年9月16日（金）から令和4年10月7日（金）まで

②東京都：令和5年度性別による「無意識の思い込み」に関する実態調査

◇調査対象：都立高等学校の生徒（全日制・定時制、1・2年生） 43,210人（回答者数 10,763人）

◇調査方法：インターネットを利用した Web 画面から直接回答

◇調査期間：令和5年9月1日（金）から令和5年9月21日（木）まで

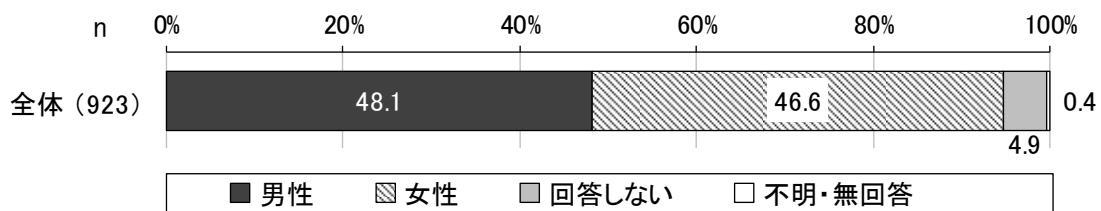
◎東京都調査 | 回収状況：

	配布数	有効回収数	有効回収率
小学生	10,020	6,622	66.1%
高校生	43,210	10,763	24.9%

5 調査結果

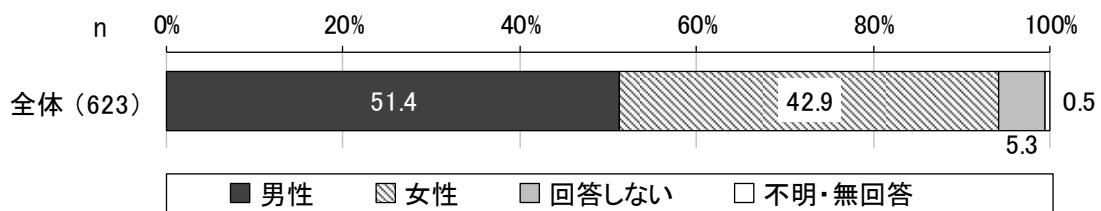
■小学生 | 性別

小学生の性別についてみると、「男性」が 48.1%、「女性」が 46.6%、「回答しない」が 4.9%となっている。



■中学生 | 性別

中学生の性別についてみると、「男性」が 51.4%、「女性」が 42.9%、「回答しない」が 5.3%となっている。

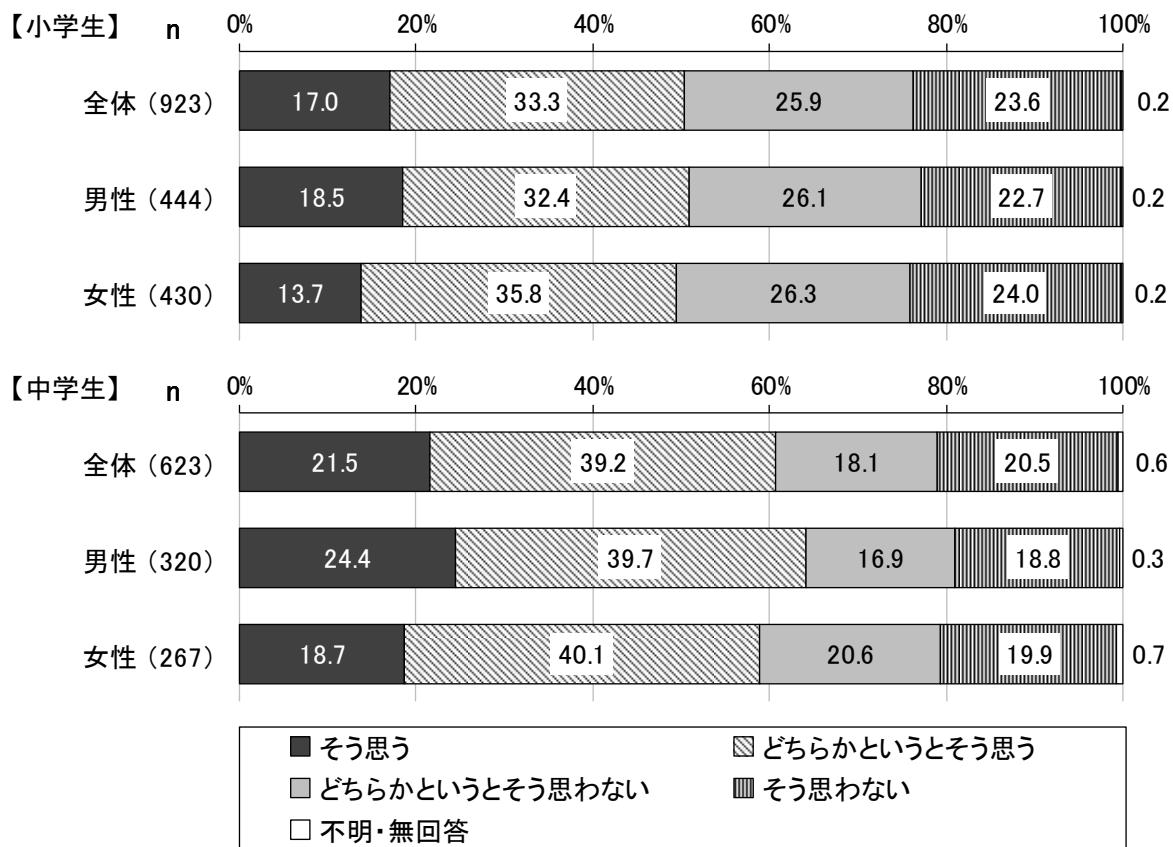


※学校名、クラス名(省略)

問1.「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある。

「男の子だから」「女の子だから」と思うことがあるかについて、小学生では、「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせた〈思う〉が 50.3%、「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」を合わせた〈思わない〉が49.5%と、〈思う〉の割合が〈思わない〉よりもわずかに高くなっている。

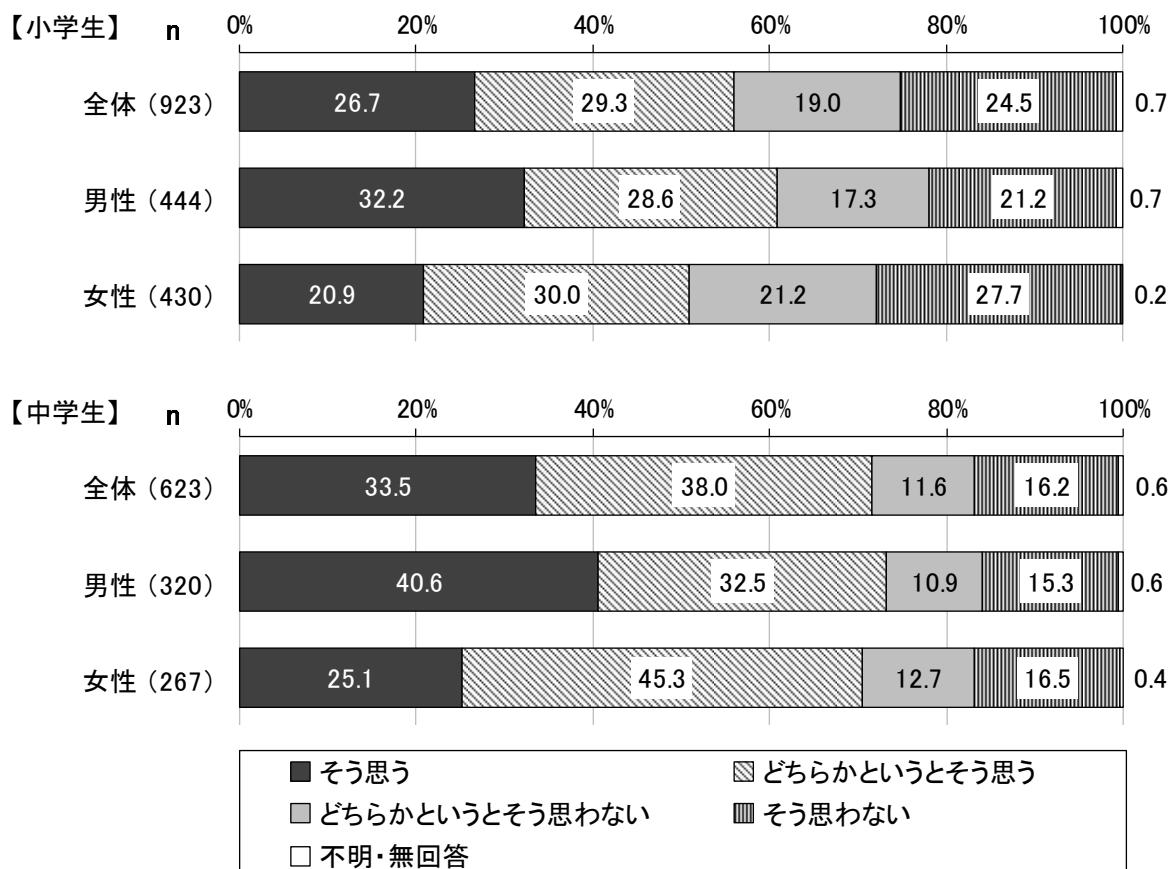
中学生では、〈思う〉が 60.7%、〈思わない〉が 38.6%と、〈思う〉の割合が〈思わない〉よりも大幅に高くなっている。



問2.(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う。

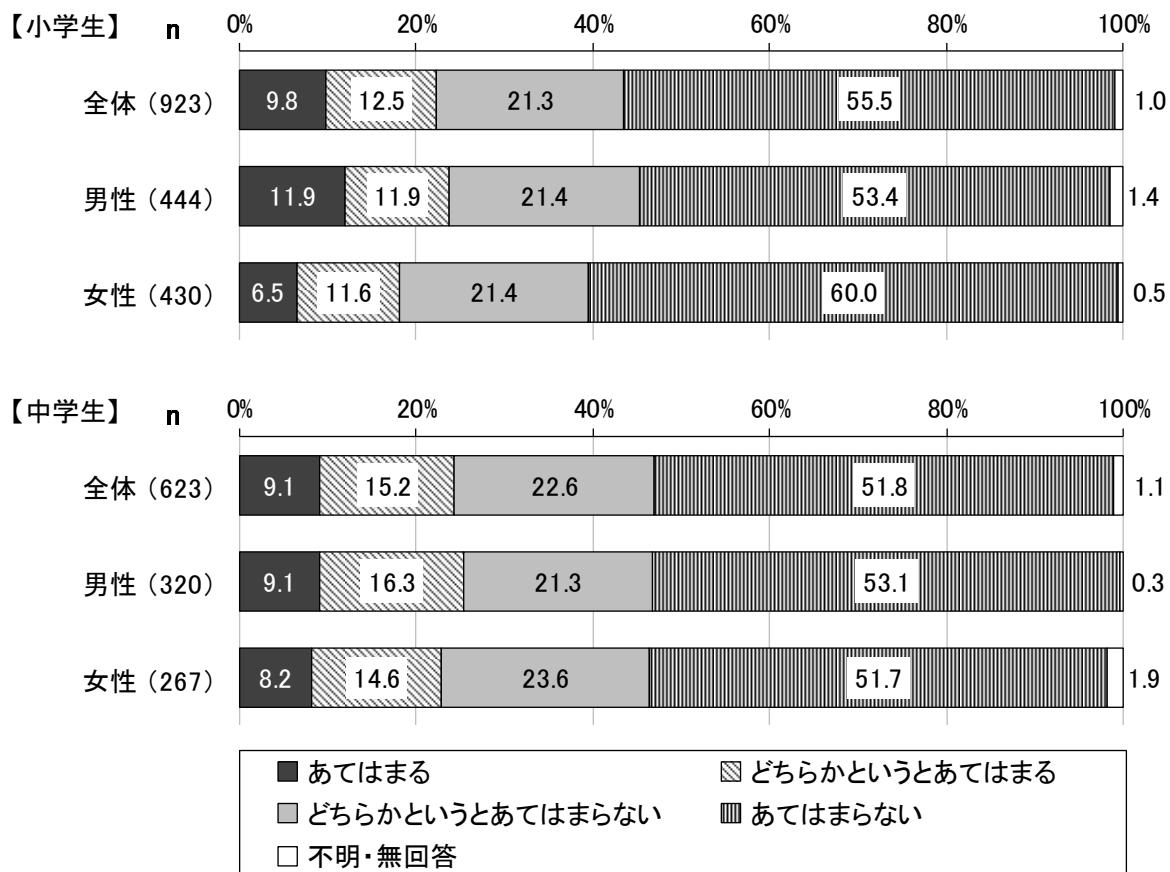
(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思うかについて、小学生では、「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせた〈思う〉が 56.0%、「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」を合わせた〈思わない〉が 43.5%と、〈思う〉の割合が〈思わない〉よりも高くなっている。

また、小学生男性では「そう思う」が 32.2%、中学生男性では 40.6%と、女性と比較して、小学生で 11.3 ポイント、中学生で 15.5 ポイント高くなっている。



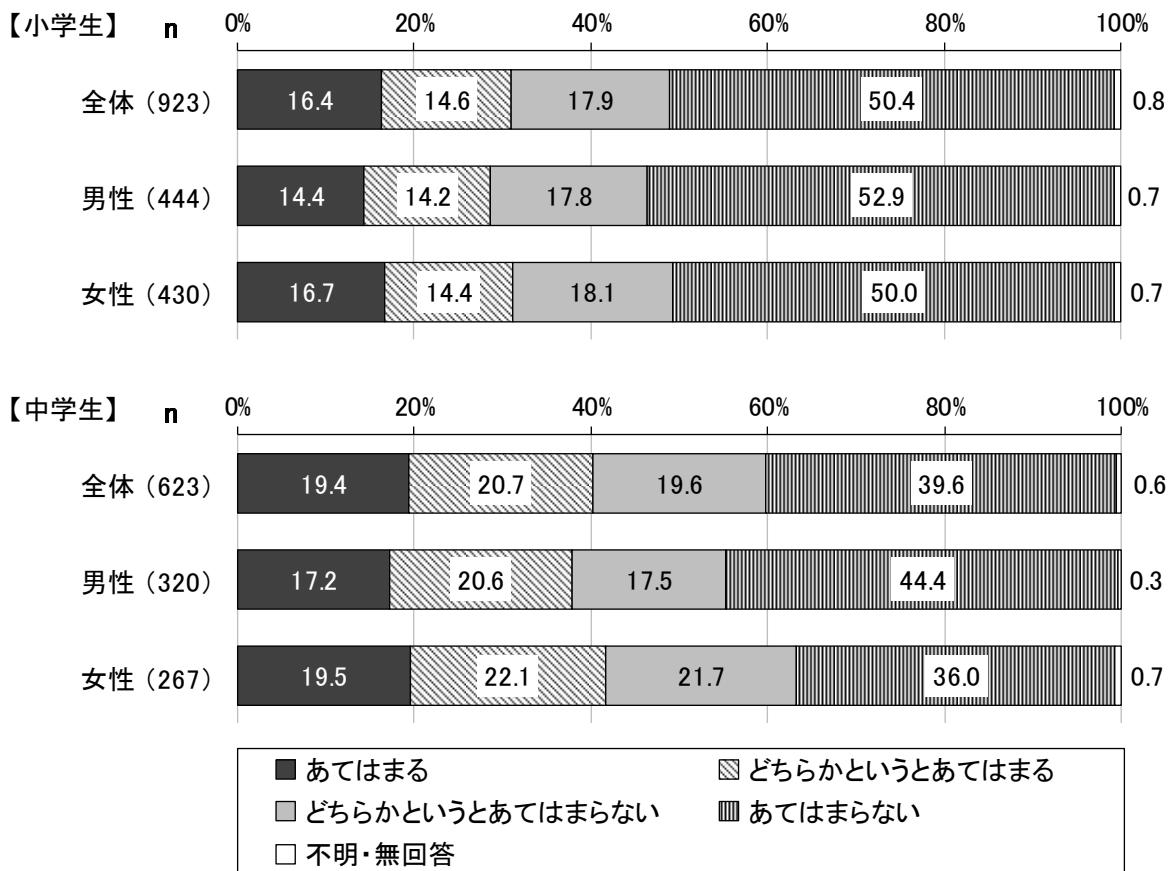
問3.「男の子だから」「女の子だから」と先生に言われたことがある。

小中学生、男女ともに「あてはまらない」が最も高くなっている一方、小学生男性と中学生男性、中学生女性では、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉が2割を超えてい。



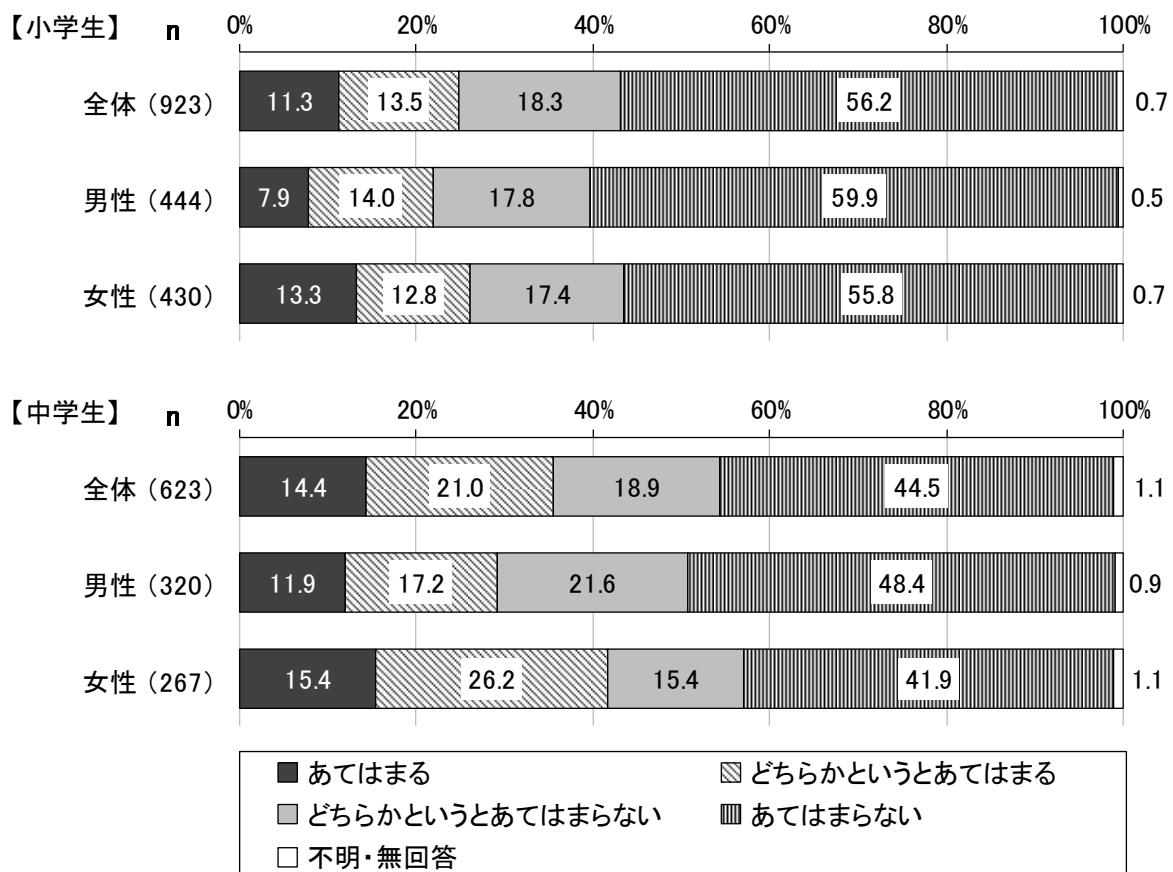
問4.「男の子だから」「女の子だから」と親(保護者)に言われたことがある。

小中学生、男女ともに「あてはまらない」が最も高くなっている一方、小学生の女性と中学生男性では、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉が3割、中学生女性では4割を超えている。



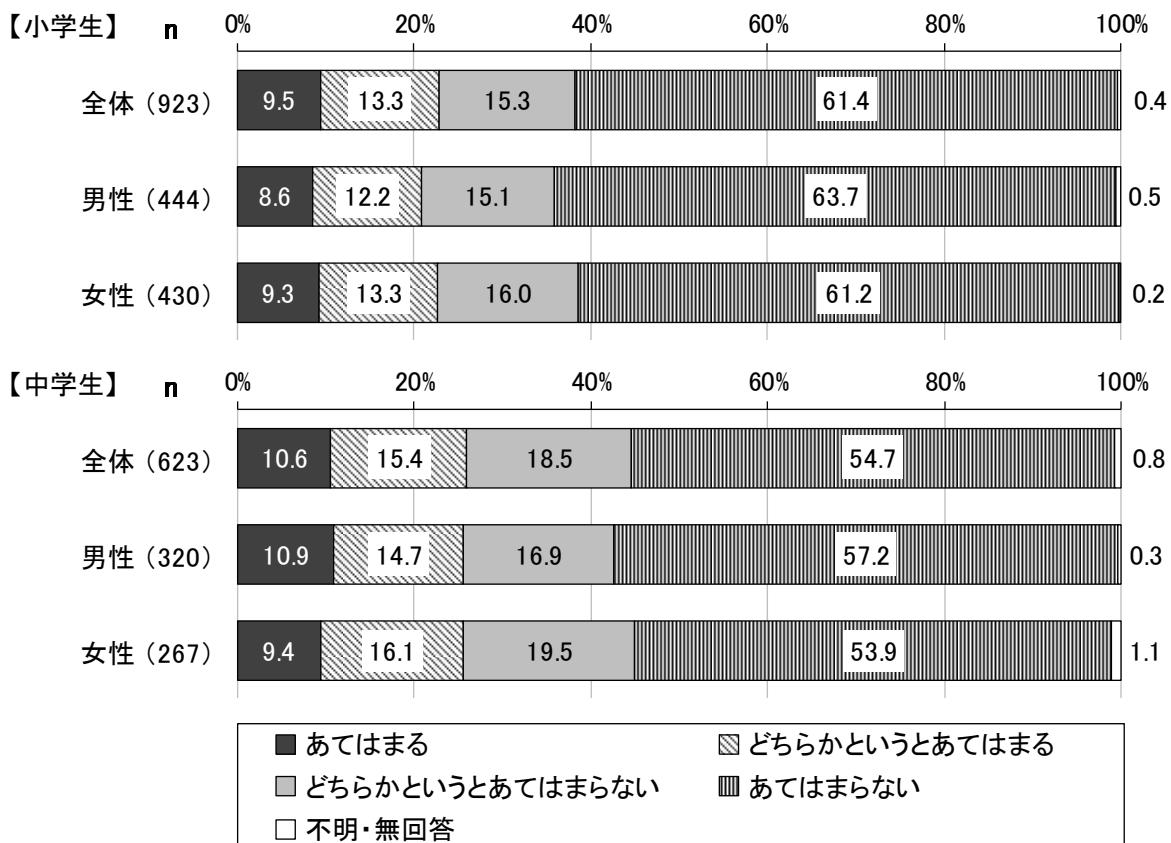
問5.「男の子だから」「女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある。

小中学生、男女ともに「あてはまらない」が最も高くなっている一方、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉では、小学生が2割、中学生では3割を超えており。また、中学生女性では、〈あてはまる〉が41.6%と、中学生男性(29.1%)と比較して12.5ポイント高くなっている。



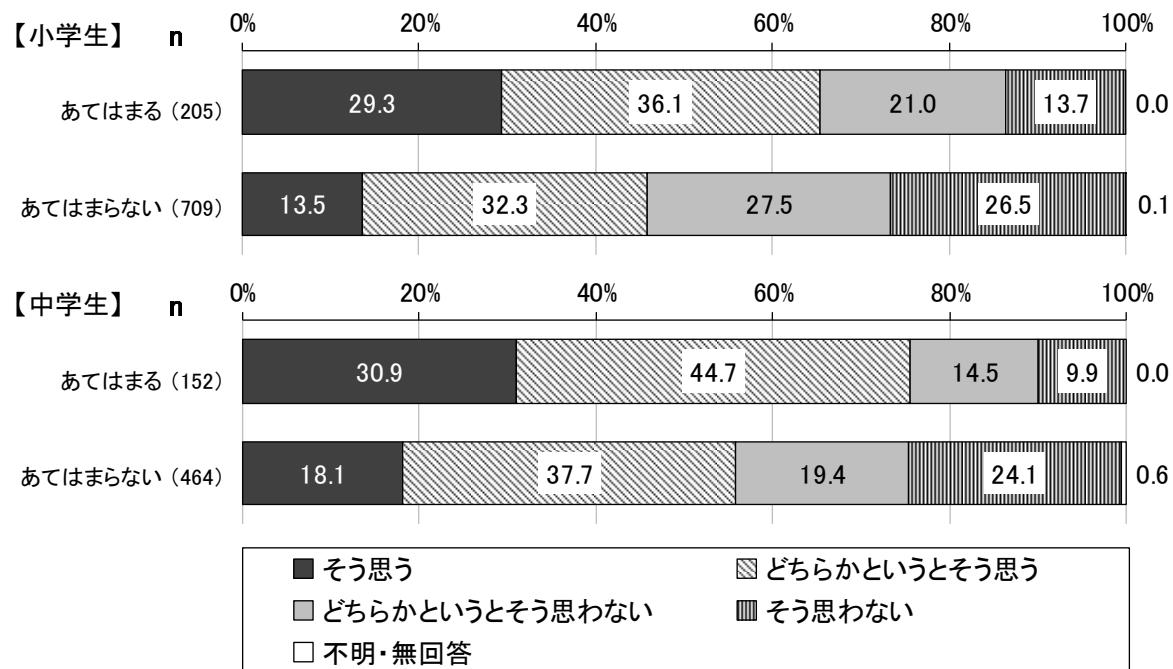
問6.「男の子だから」「女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされたことがある。

小中学生、男女ともに「あてはまらない」が最も高くなっている一方、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉では、小中学生、男女ともに2割を超えてい。



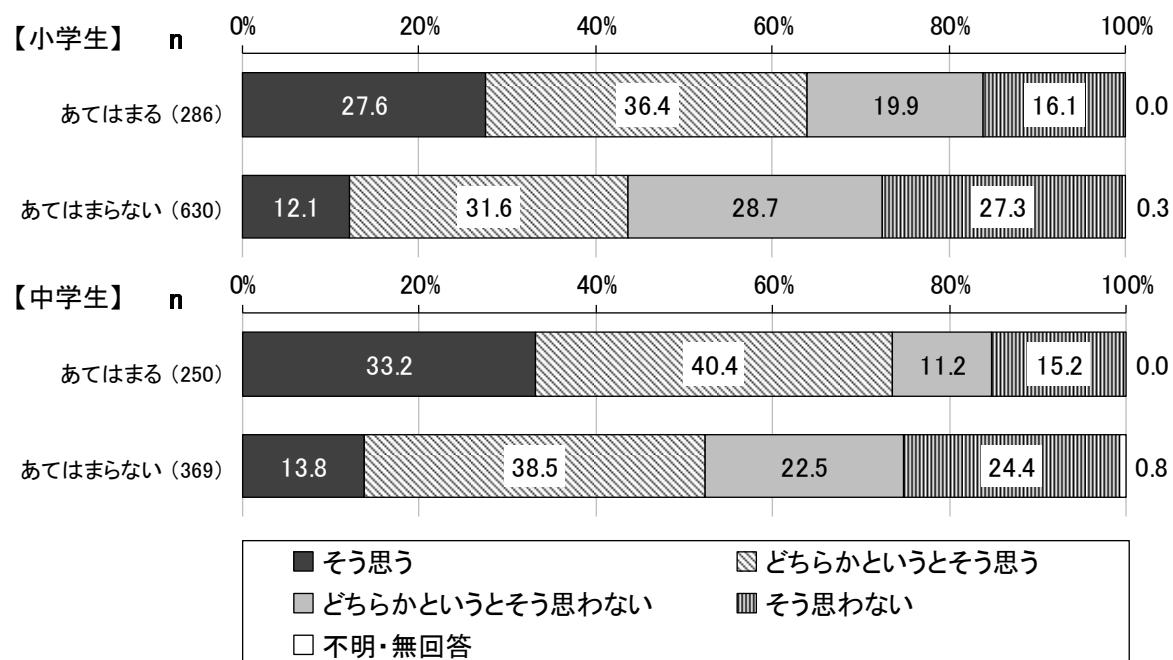
■「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験の有無別(問3)／「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合(問1)

「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験のある人(あてはまる)では、〈思う〉が小学生で6割台半ば、中学生で7割台半ばと、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 19.6 ポイント、中学生で 19.8 ポイント高くなっている。



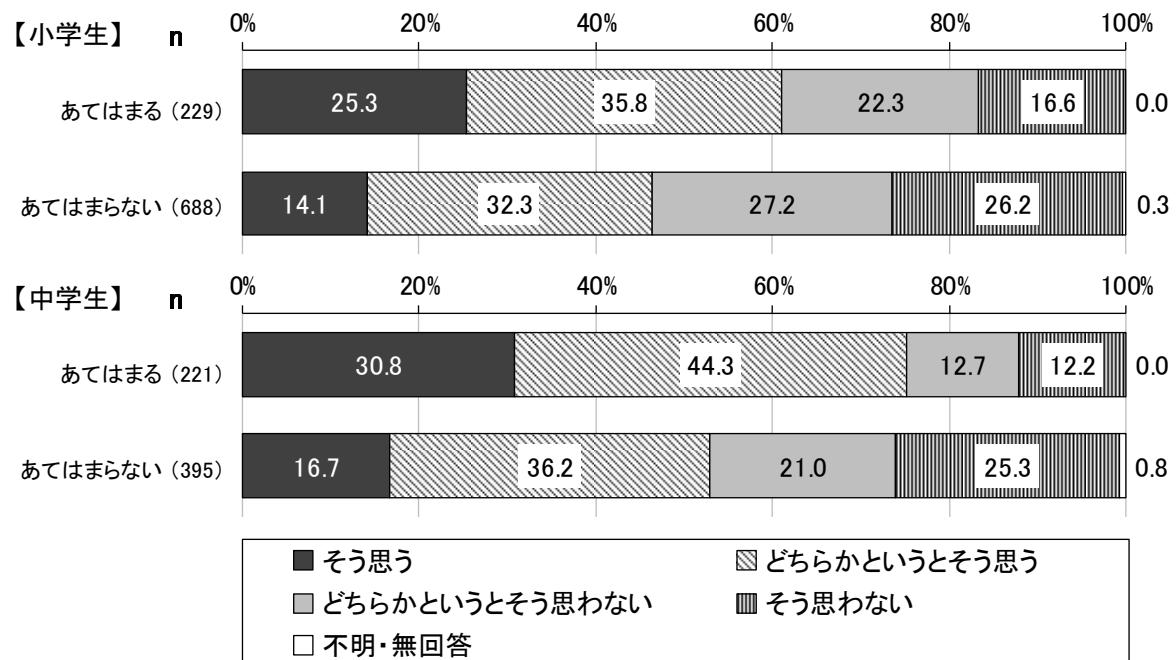
■「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験の有無別(問4)／「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合(問1)

「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈思う〉が小学生で6割台半ば、中学生で7割台前半と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 20.3 ポイント、中学生で 21.3 ポイント高くなっている。



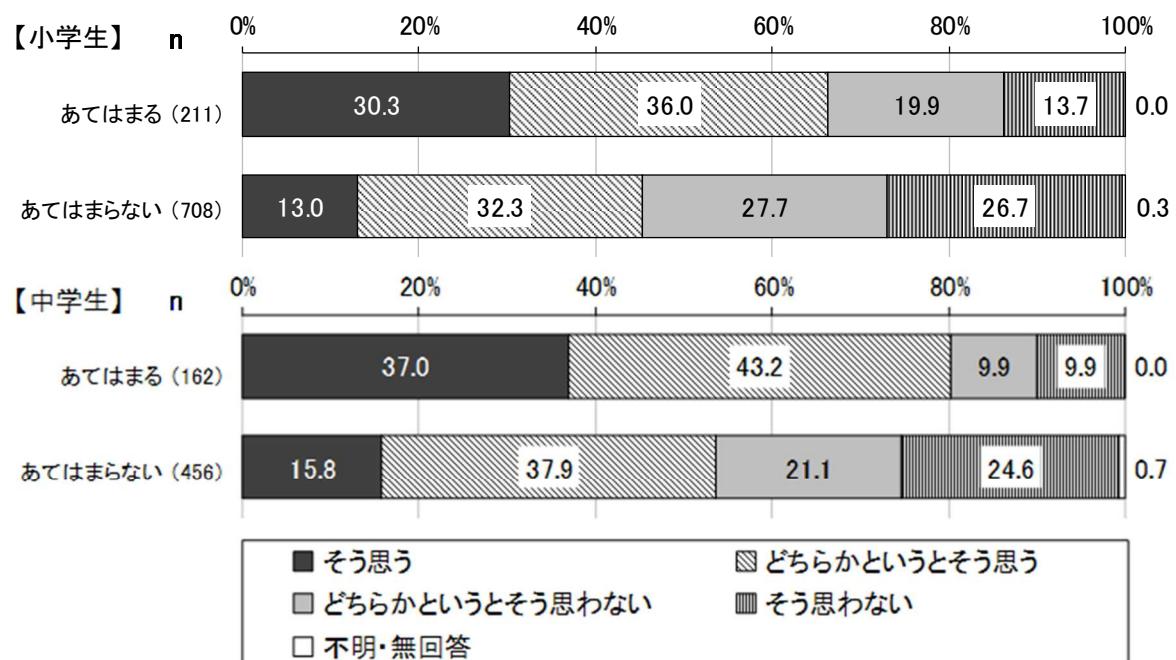
■「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験の有無別(問5)／「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合(問1)

「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈思う〉が小学生で6割台前半、中学生で7割台半ばと、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生では15.3ポイント、中学生で22.2ポイント高くなっている。



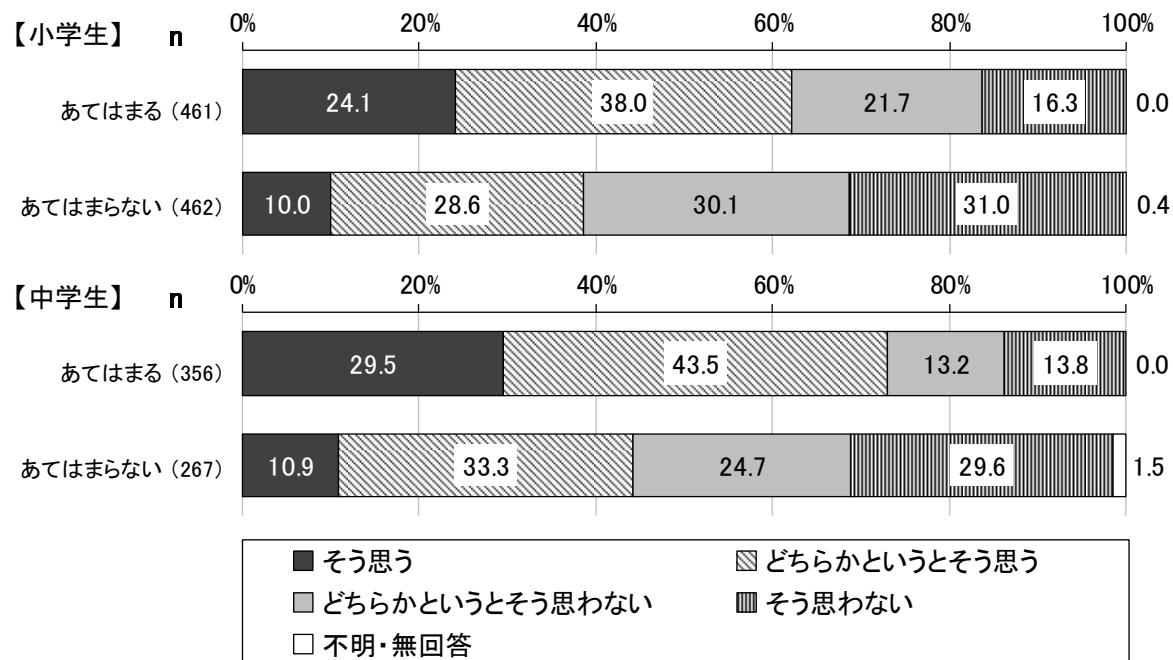
■「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言われた経験の有無別(問6)／「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合(問1)

「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈思う〉が小学生で6割台後半、中学生で約8割と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生では21.0ポイント、中学生で26.5ポイント高くなっている。



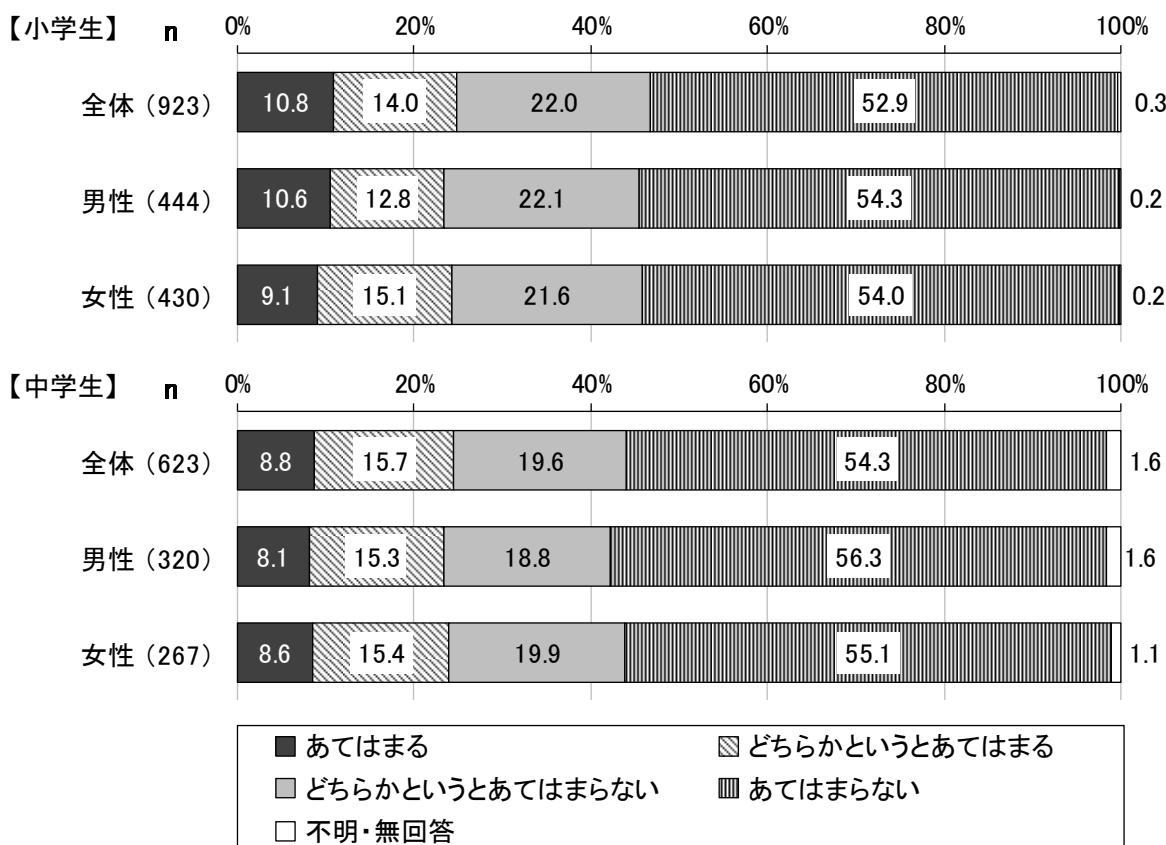
■「男の子/女の子だから」と誰かから言わされた経験の有無別／「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合(問1)

「男の子/女の子だから」と誰かから言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈思う〉が小学生で6割台前半、中学生で7割台前半と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生では 23.5 ポイント、中学生では 28.8 ポイント高くなっている。



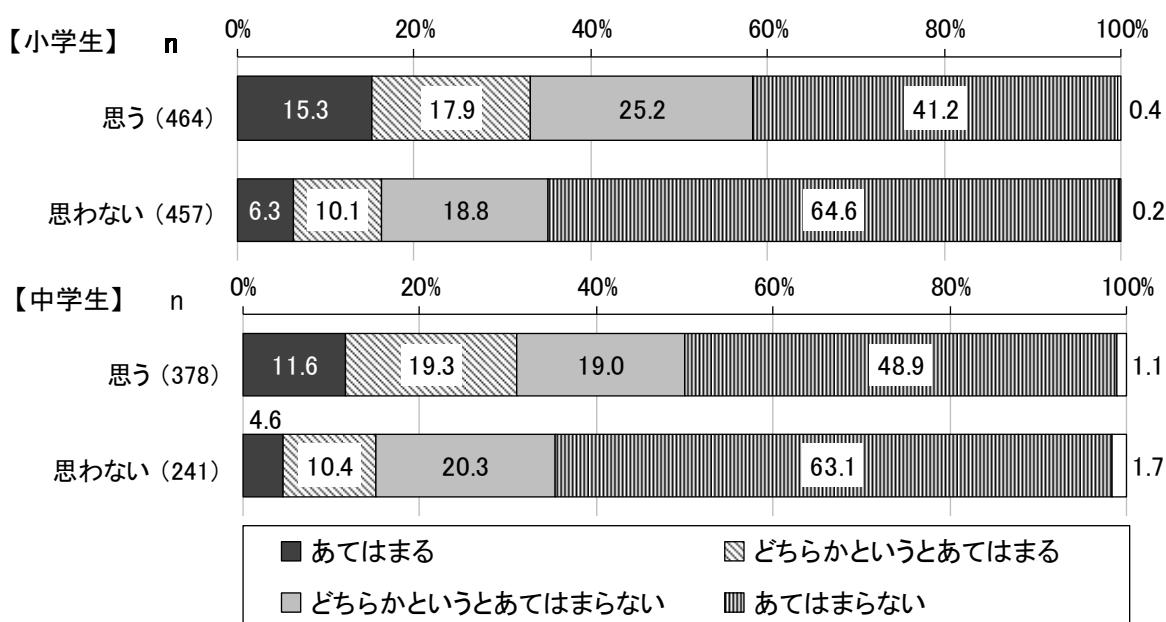
問7.性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがある。

小中学生、男女ともに「あてはまらない」が最も高くなっている一方、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉では、小中学生、男女ともに2割を超えてい。



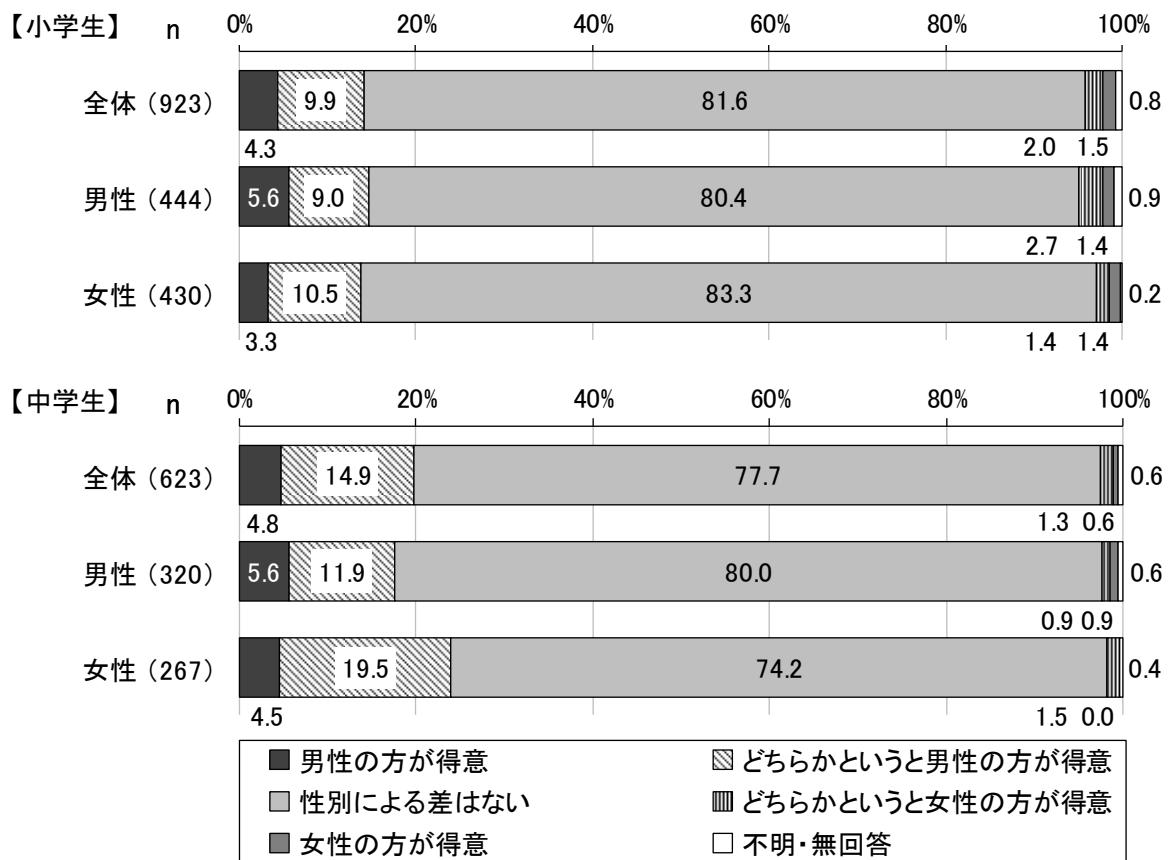
■「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある経験別(問1)／性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがある割合

「男の子/女の子だから」と思うことがある人(思う)は、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉が、小中学生ともに3割を超えており、思うことのない人(思わない)と比較して、小学生で 16.8 ポイント、中学生で 15.9 ポイント高くなっている。



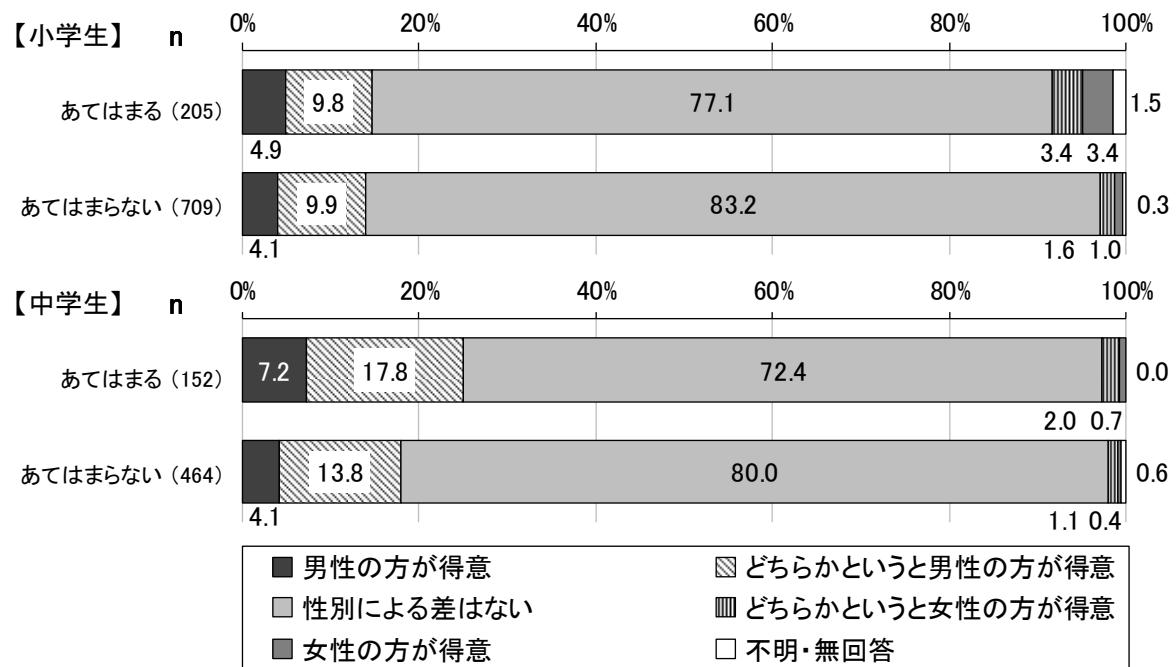
問8.算数(数学)・理科の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

算数(数学)・理科の得意・不得意について、小中学生、男女ともに「性別による差はない」が最も高く、次いで「どちらかというと男性の方が得意」となっている。また、中学生女性では、「男性の方が得意」「どちらかというと男性の方が得意」を合わせた〈男性の方が得意〉が2割を超えてい。



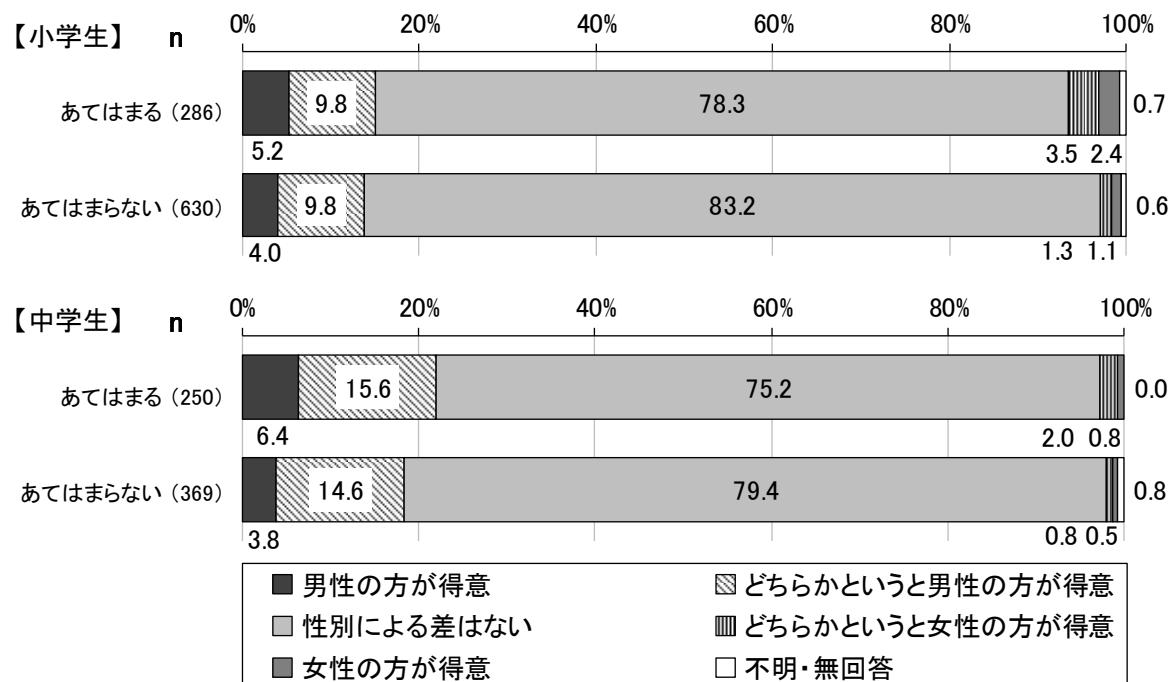
■「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験の有無別(問3)／算数(数学)・理科の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈男性の方が得意〉が中学生で25.0%と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、7.1ポイント高くなっている。



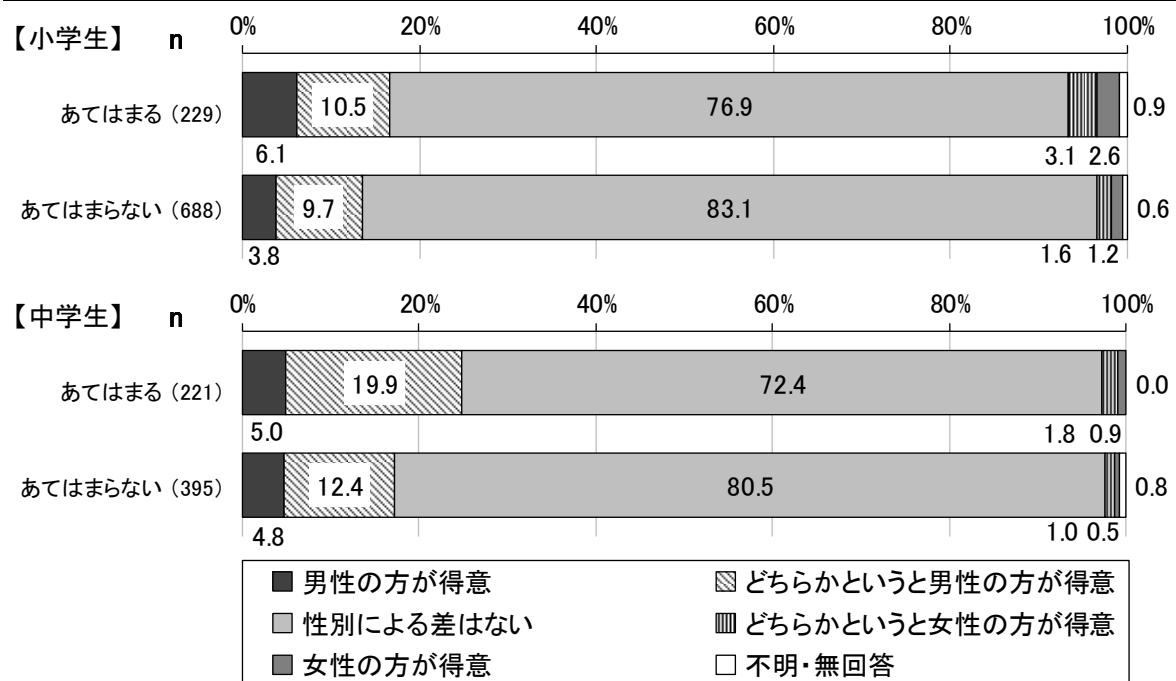
■「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験の有無別(問4)／算数(数学)・理科の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験のある人(あてはまる)と、ない人(あてはまらない)とでは、大きな差はみられませんでした。



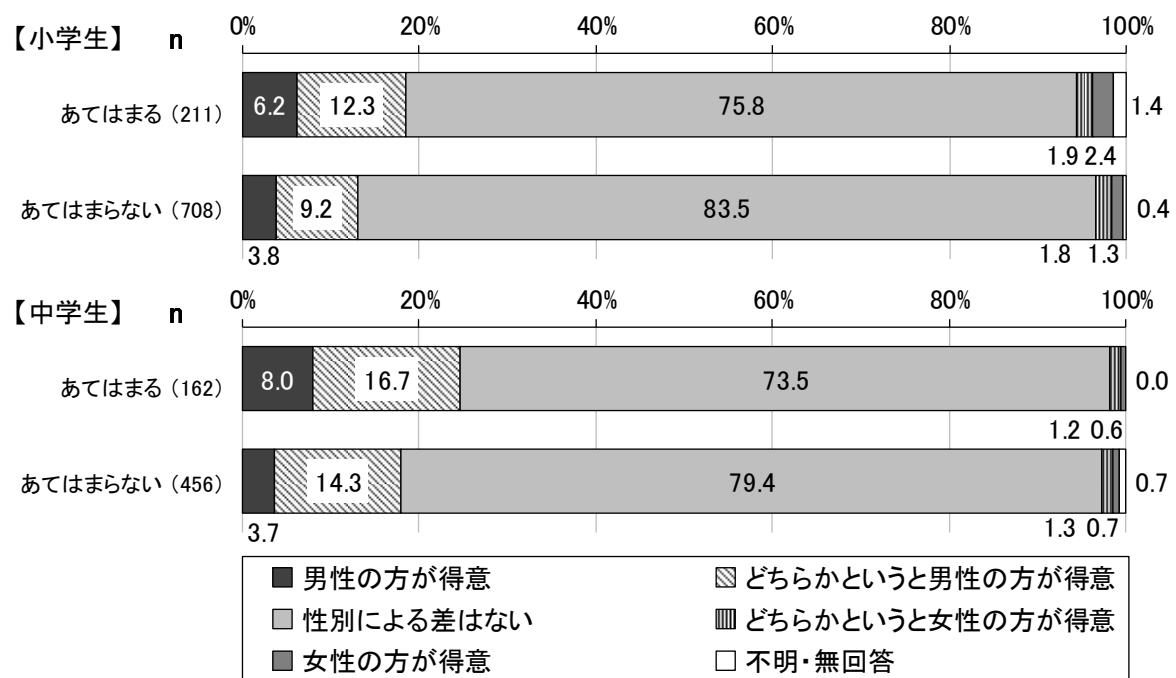
■「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験の有無別(問5)／算数(数学)・理科の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈男性の方が得意〉が中学生で 24.9%と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、7.7 ポイント高くなっている。



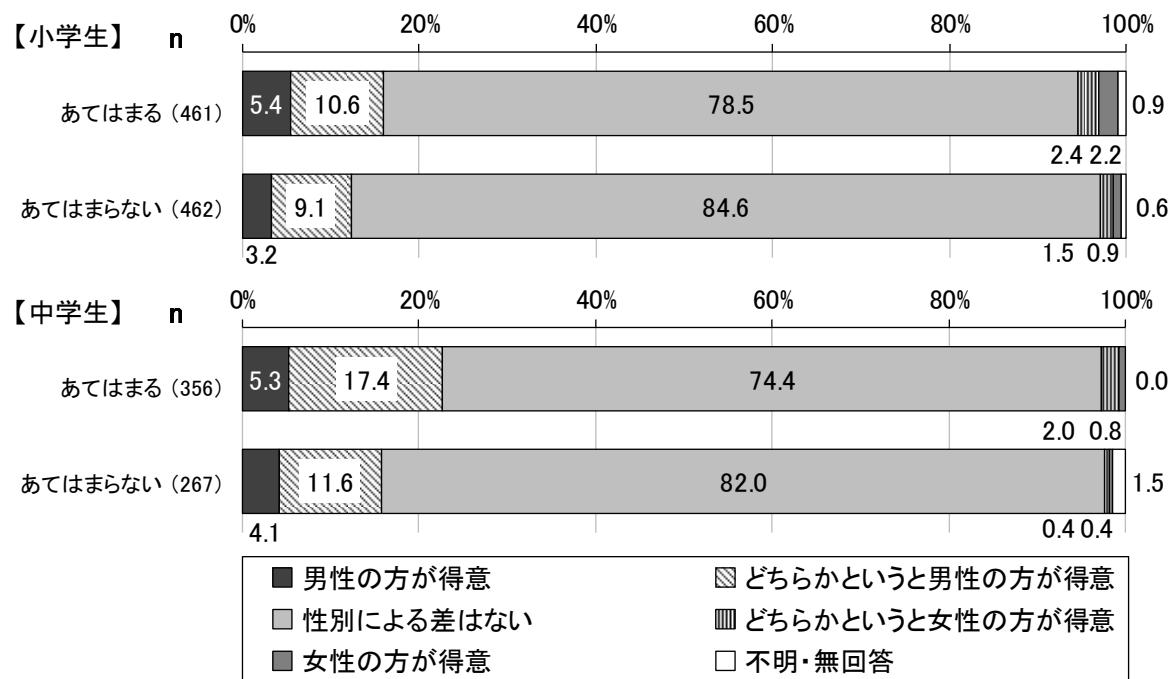
■「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言われた経験の有無別(問6)／算数(数学)・理科の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈男性の方が得意〉が小学生で 18.5%、中学生で 24.7%と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 5.5 ポイント、中学生で 6.7 ポイント高くなっている。



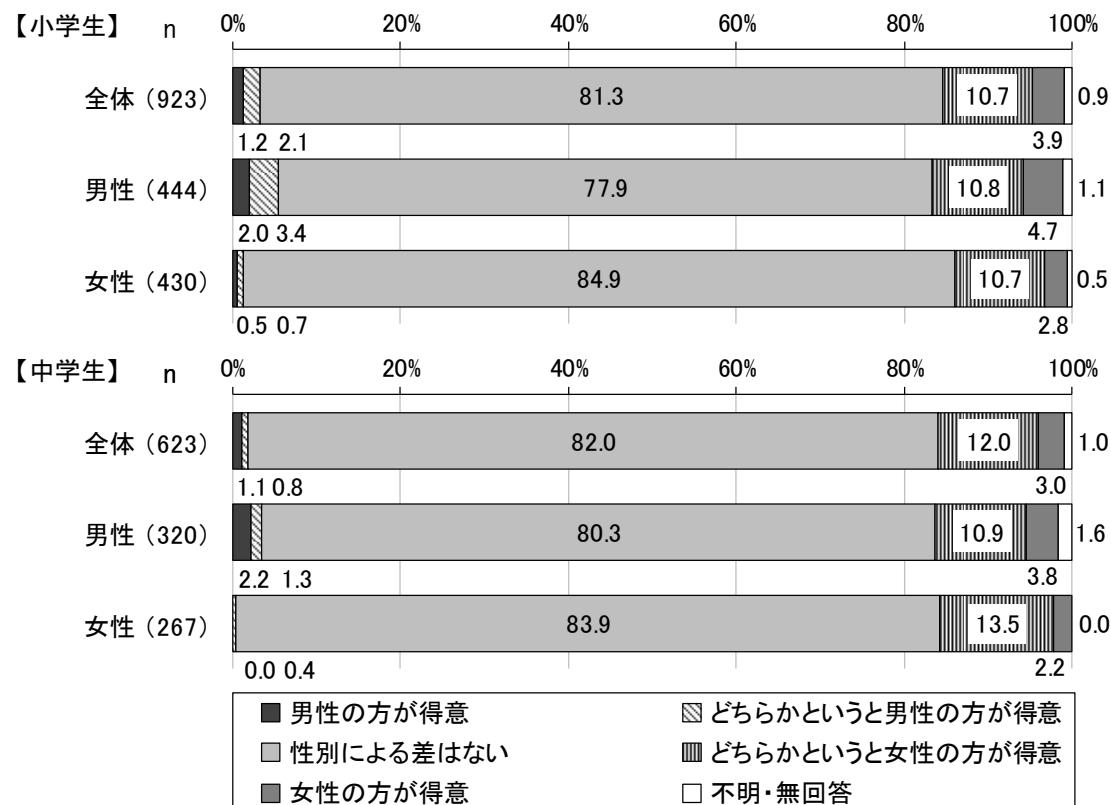
■「男の子/女の子だから」と誰かから言わされた経験の有無別／算数(数学)・理科の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と誰かから言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈男性の方が得意〉が中学生で22.7%と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、7.0ポイント高くなっている。



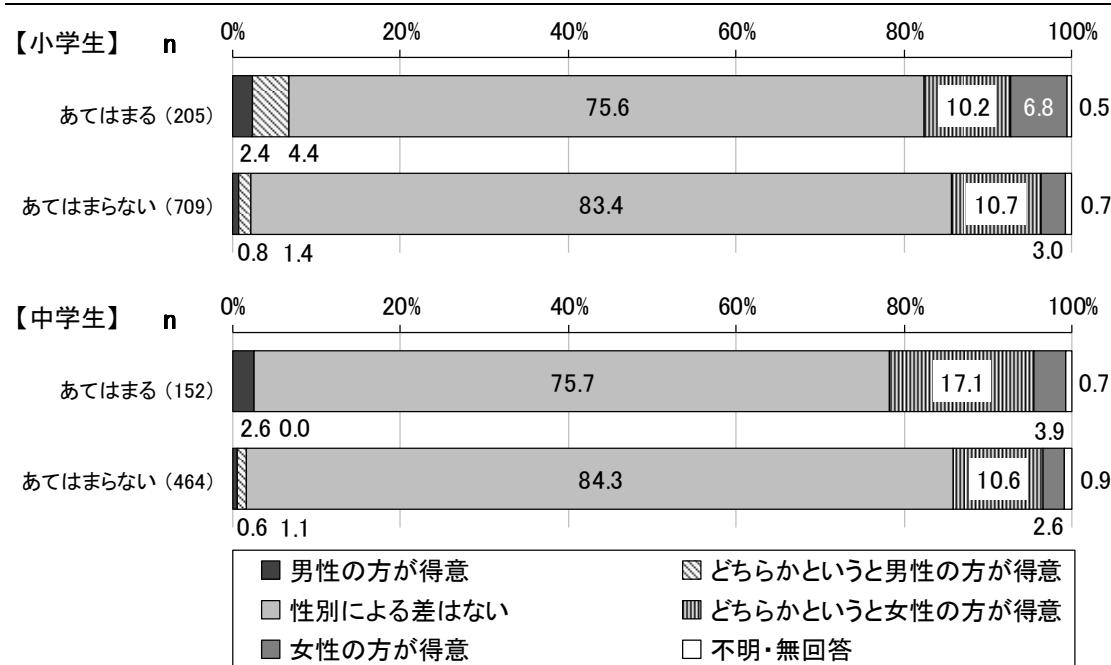
問9.国語・英語の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

国語・英語の得意・不得意について、小中学生、男女ともに「性別による差はない」が最も高く、次いで「どちらかというと女性の方が得意」となっている。



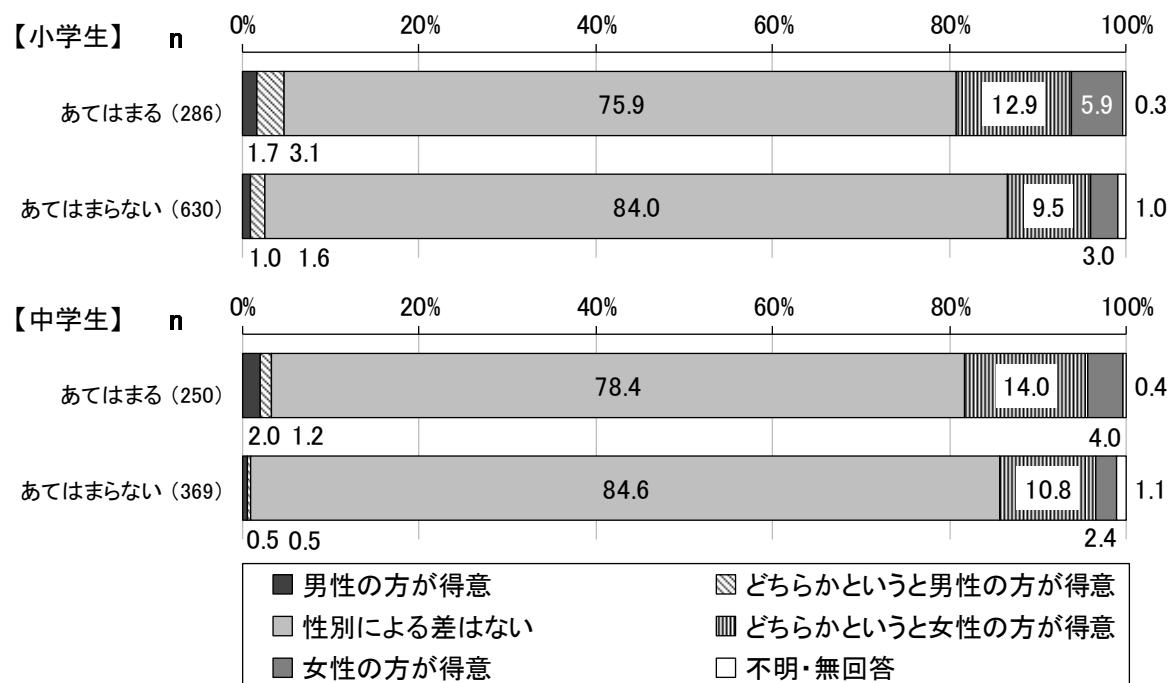
■「男の子/女の子だから」と先生に言われた経験の有無別(問3)／国語・英語の得意・不得意について

中学生では、「男の子/女の子だから」と先生に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が中学生で 21.0%と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、7.8 ポイント高くなっている。



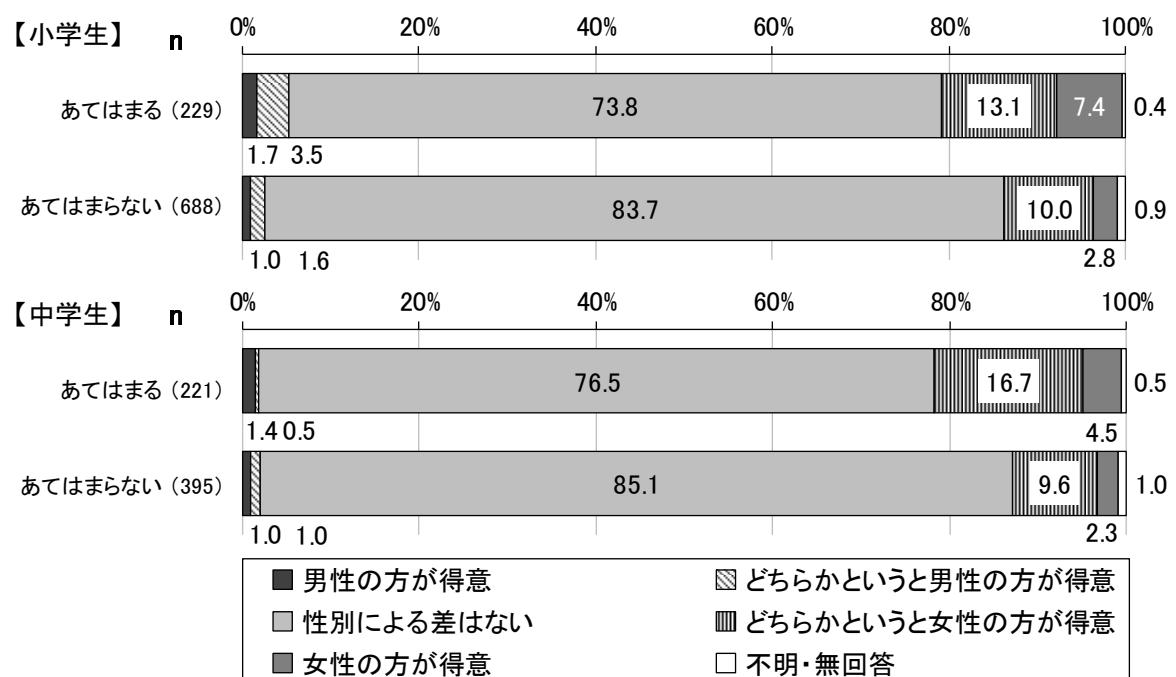
■「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言われた経験の有無別(問4)／国語・英語の得意・不得意について

小中学生ともに大きな差はみられませんでした。



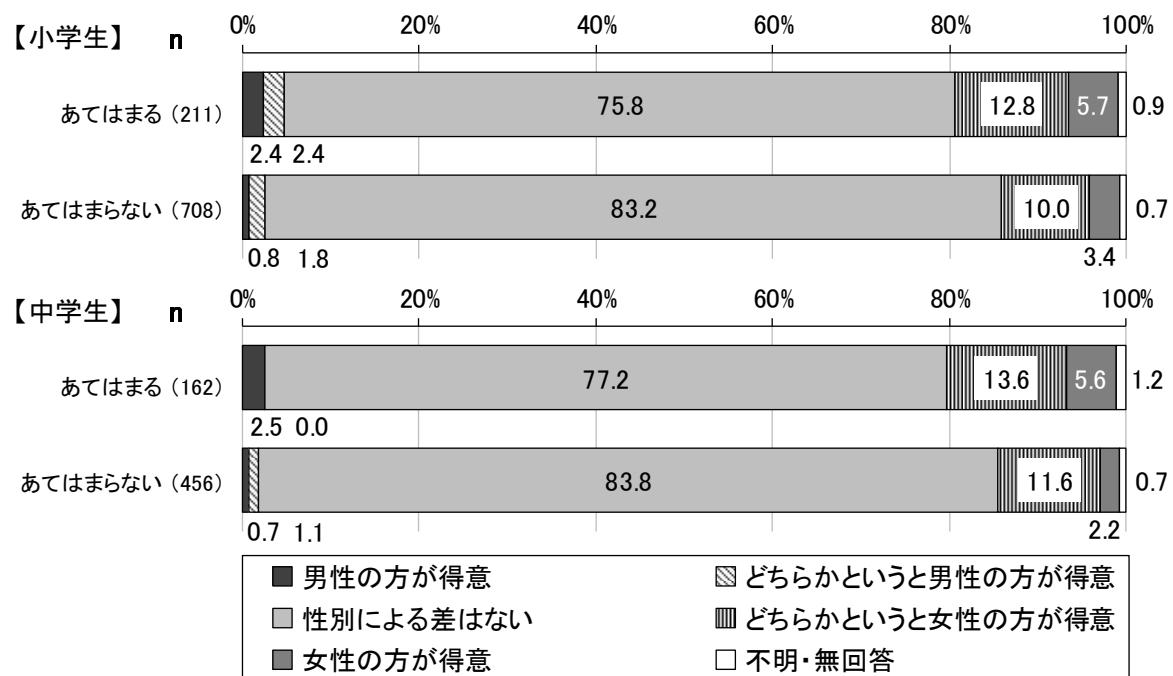
■「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験の有無別(問5)／国語・英語の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が小学生で 20.5%、中学生で 21.2%と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 7.7 ポイント、中学生で 9.3 ポイント高くなっている。



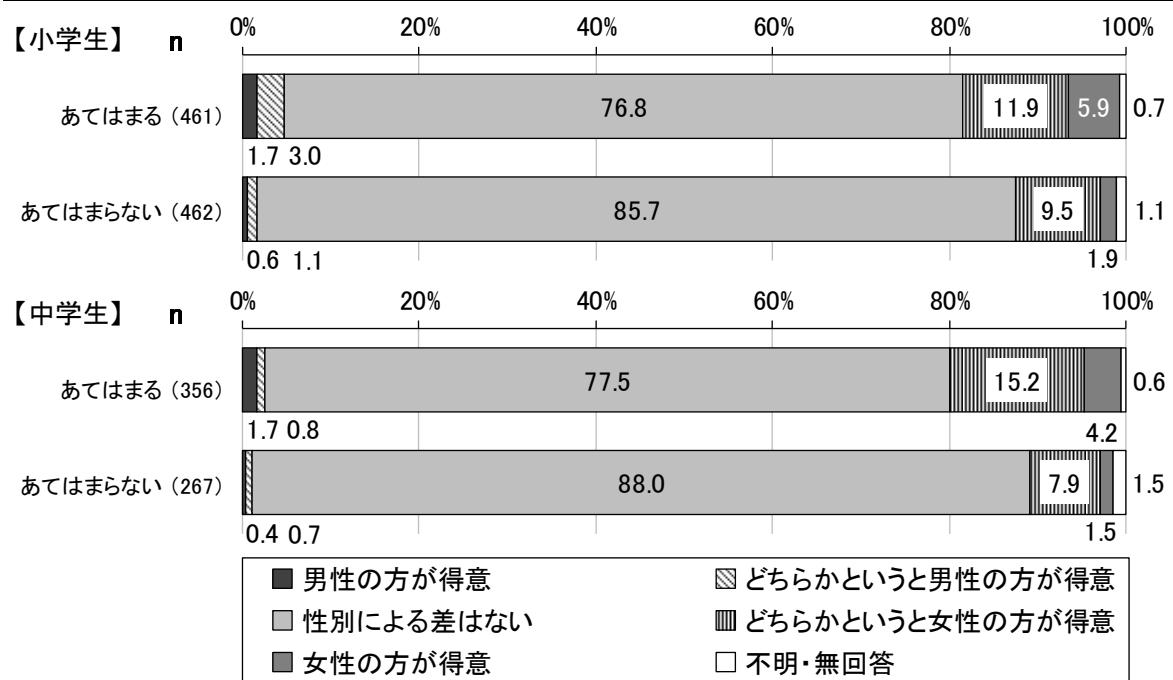
■「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされた経験の有無別(問6)／国語・英語の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が小学生で 18.5%、中学生で 19.2%と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 5.1 ポイント、中学生で 5.4 ポイント高くなっている。



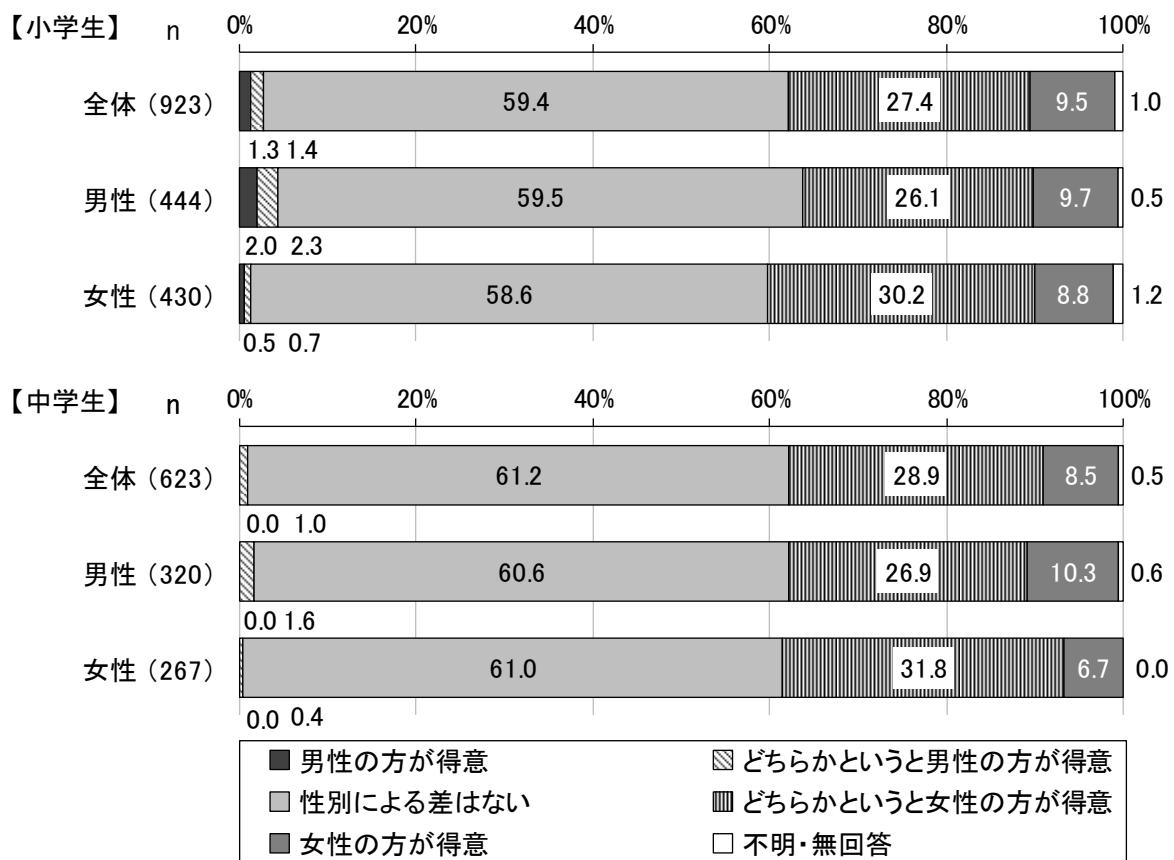
■「男の子/女の子だから」と誰から言わされた経験の有無別／国語・英語の得意・不得意について

中学生では、「男の子/女の子だから」と誰から言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が小学生で 17.8%、中学生で 19.4%と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 6.4 ポイント、中学生で 10.0 ポイント高くなっている。



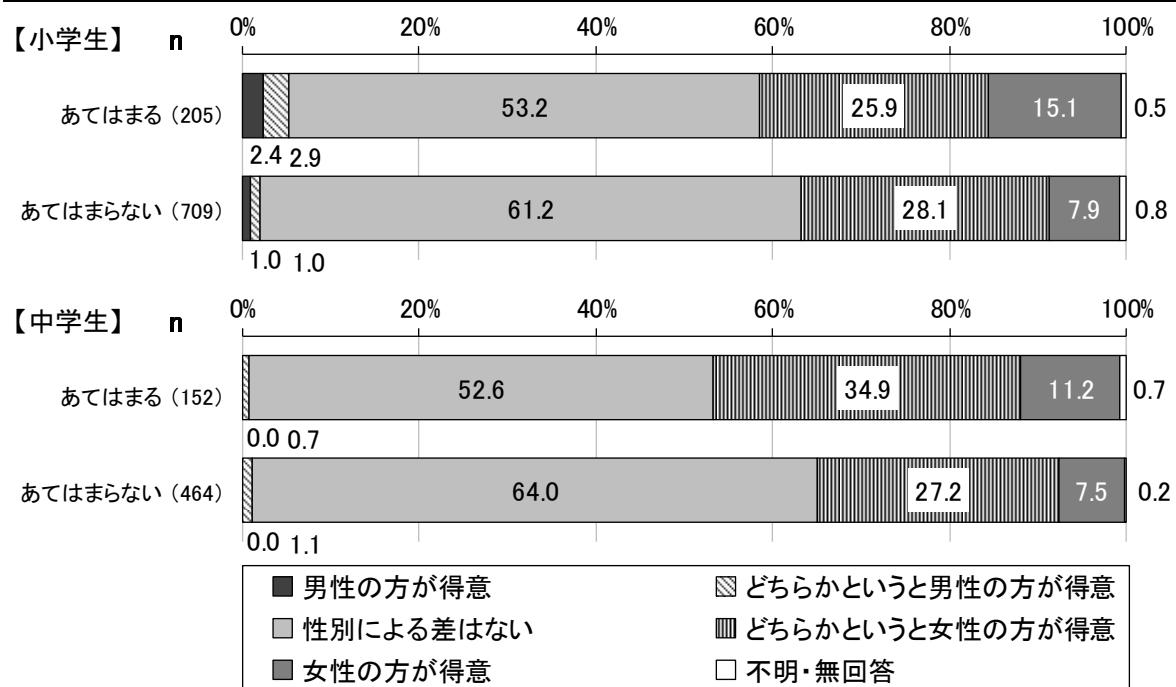
問10.家事の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

小中学生、男女ともに「性別による差はない」が最も高く、次いで「どちらかというと女性の方が得意」となっている。また、「どちらかというと女性の方が得意」「女性の方が得意」を合わせた〈女性の方が得意〉は、小学生男性と、中学生男性、中学生女性では3割超、小学生女性では約4割となっている。



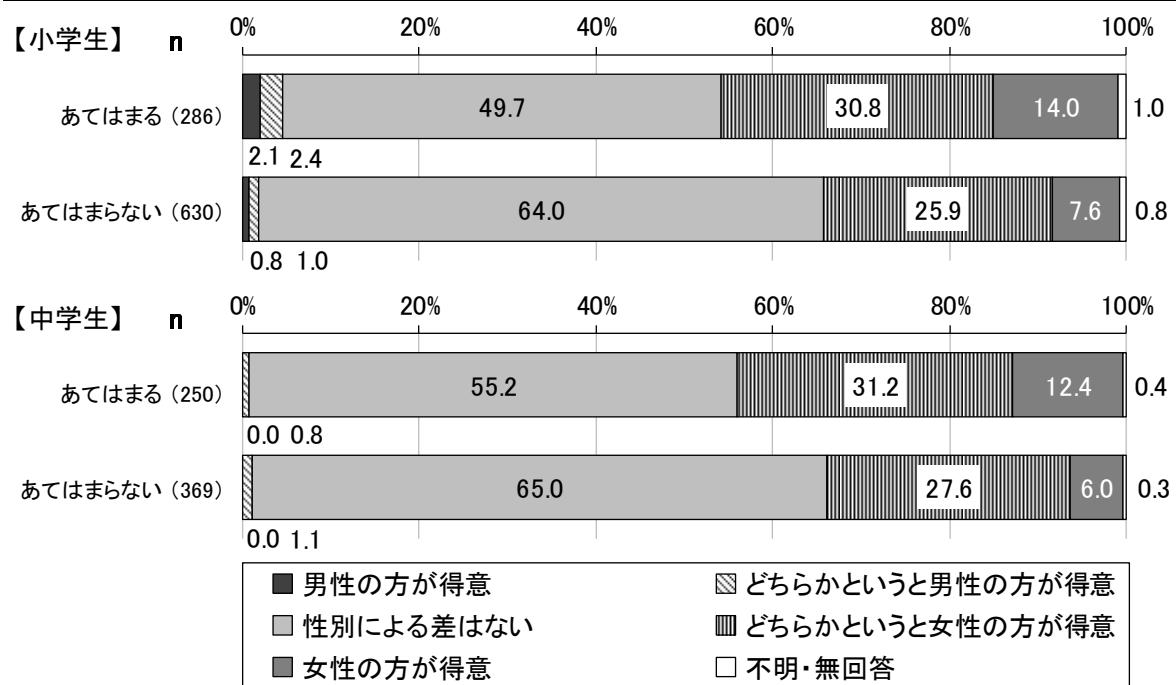
■「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験の有無別(問3)／家事の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、また、中学生で経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して 11.4 ポイント高くなっている。



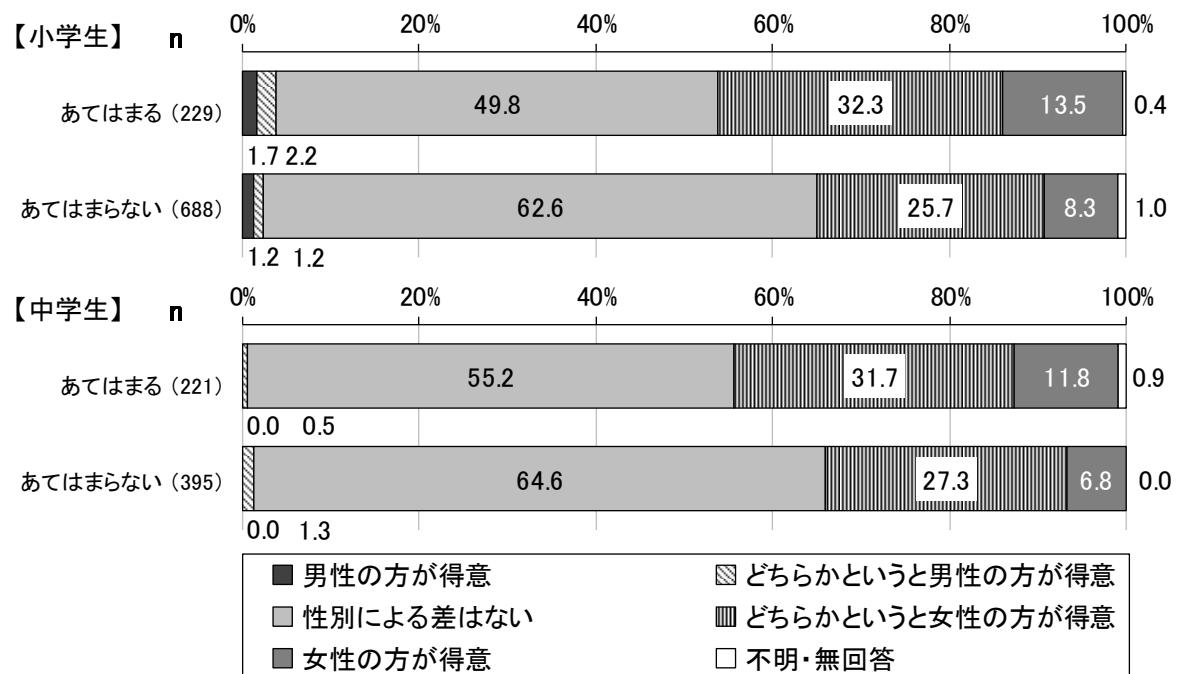
■「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験の有無別(問4)／家事の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 11.3 ポイント、中学生で 10.0 ポイント高くなっている。



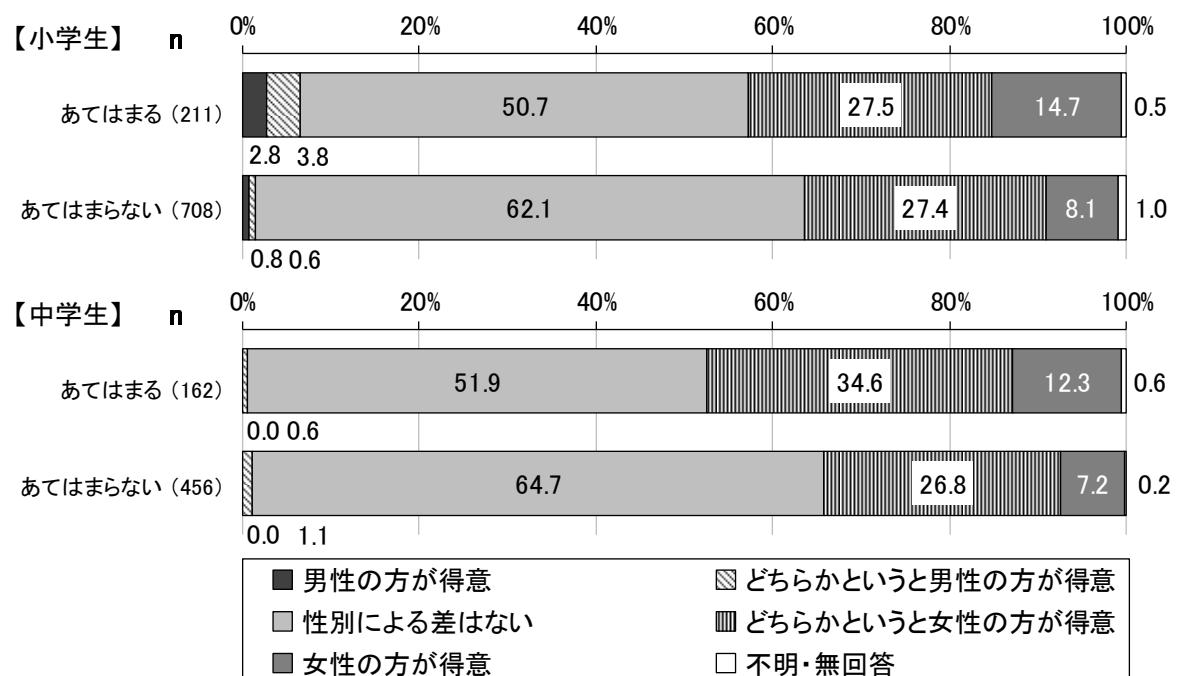
■「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言わされた経験の有無別(問5)／家事の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で11.8ポイント、中学生で9.4ポイント高くなっている。



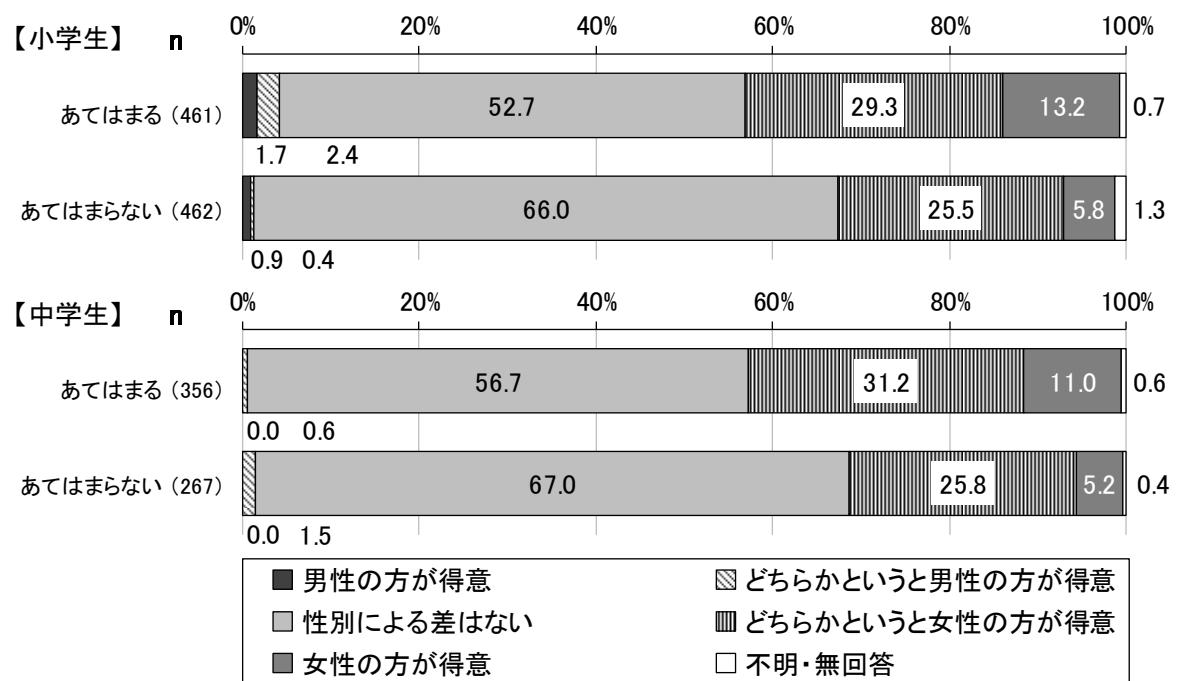
■「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされた経験の有無別(問6)／家事の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、特に、中学生では、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して12.9ポイント高くなっている。



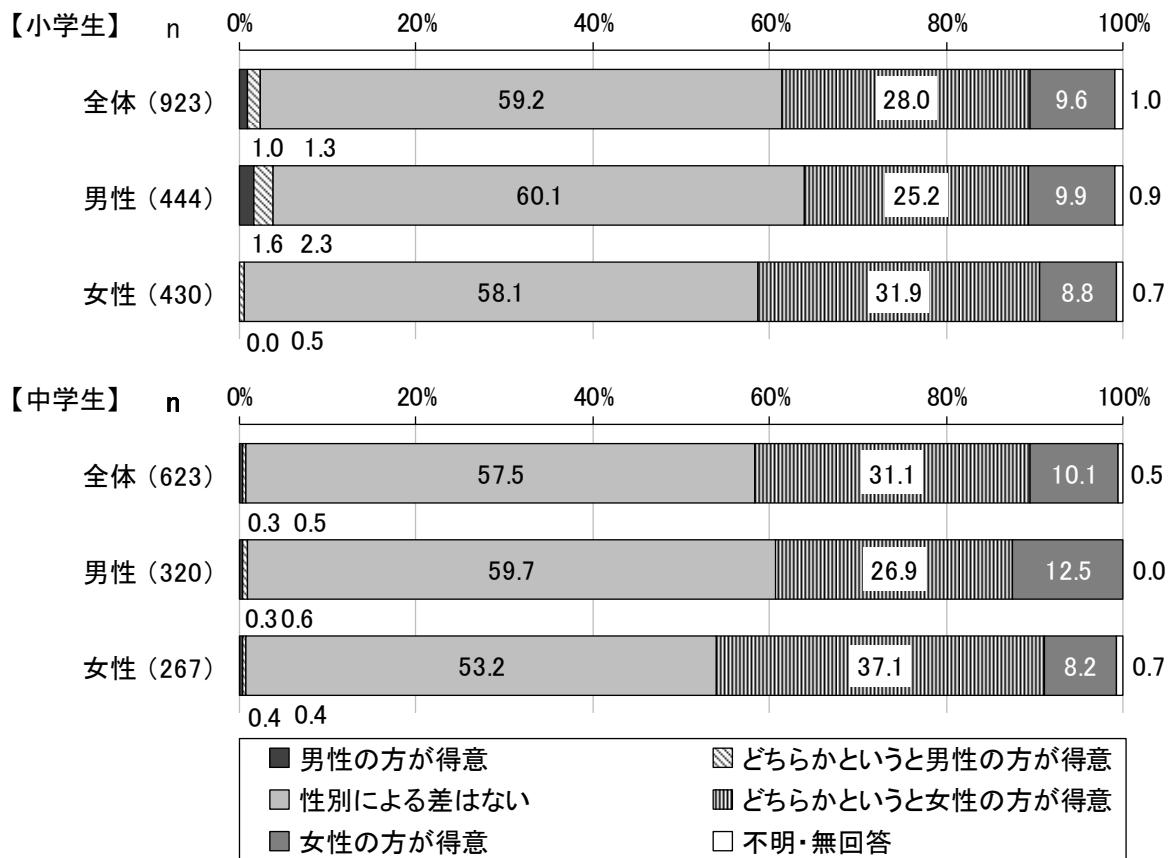
■「男の子/女の子だから」と誰かから言われた経験の有無別／家事の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、特に、中学生では、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して11.2ポイント高くなっている。



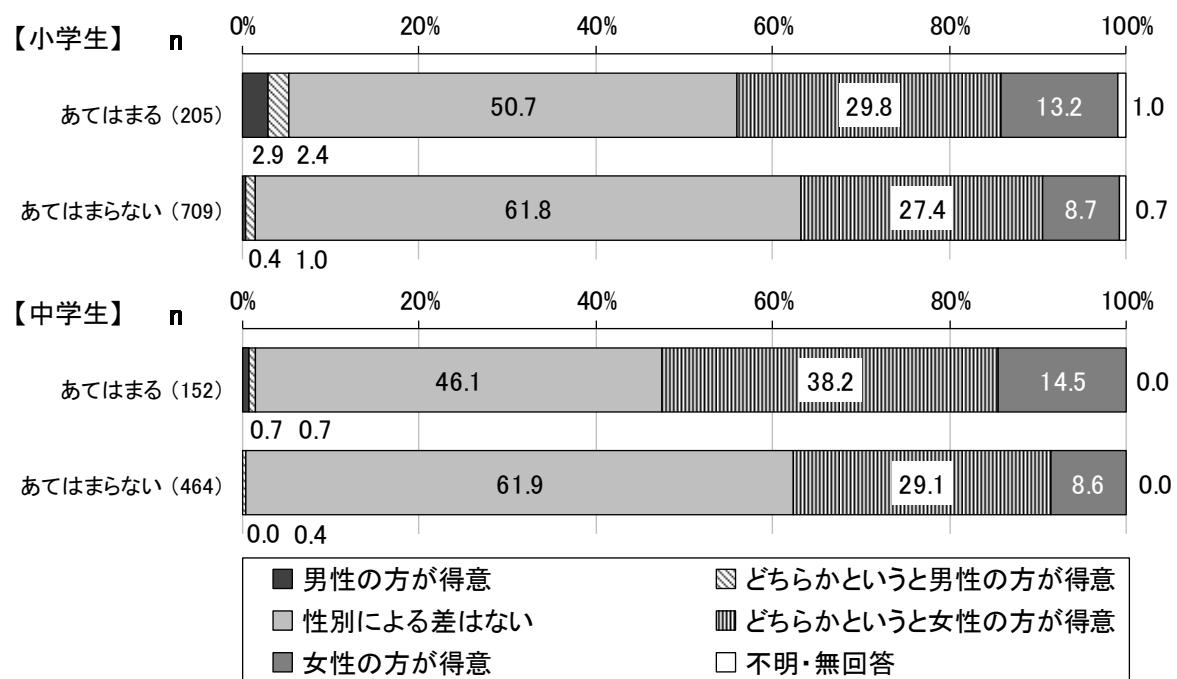
問11.育児の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

小中学生、男女ともに「性別による差はない」が最も高く、次いで「どちらかというと女性の方が得意」となっている。また、小中学生ともに女性では、「どちらかというと女性の方が得意」「女性の方が得意」を合わせた〈女性の方が得意〉が4割を超えていている。



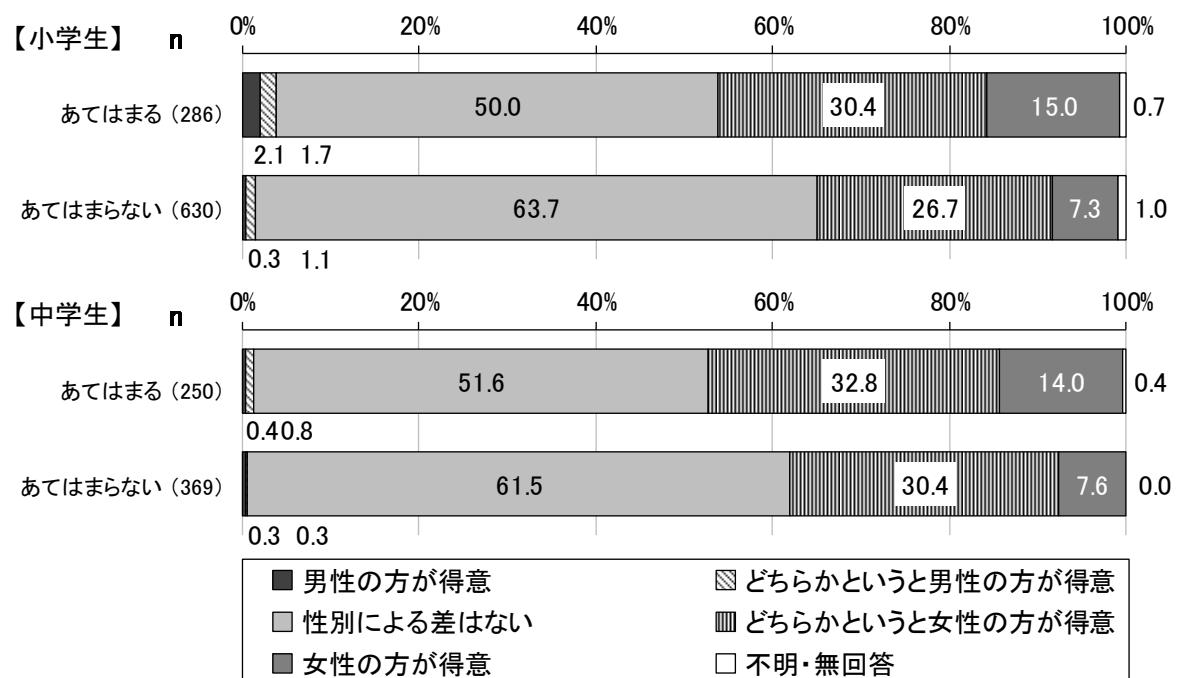
■「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験の有無別(問3)／育児の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と先生に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、特に、中学生では、〈女性の方が得意〉が半数を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して15.0ポイント高くなっている。



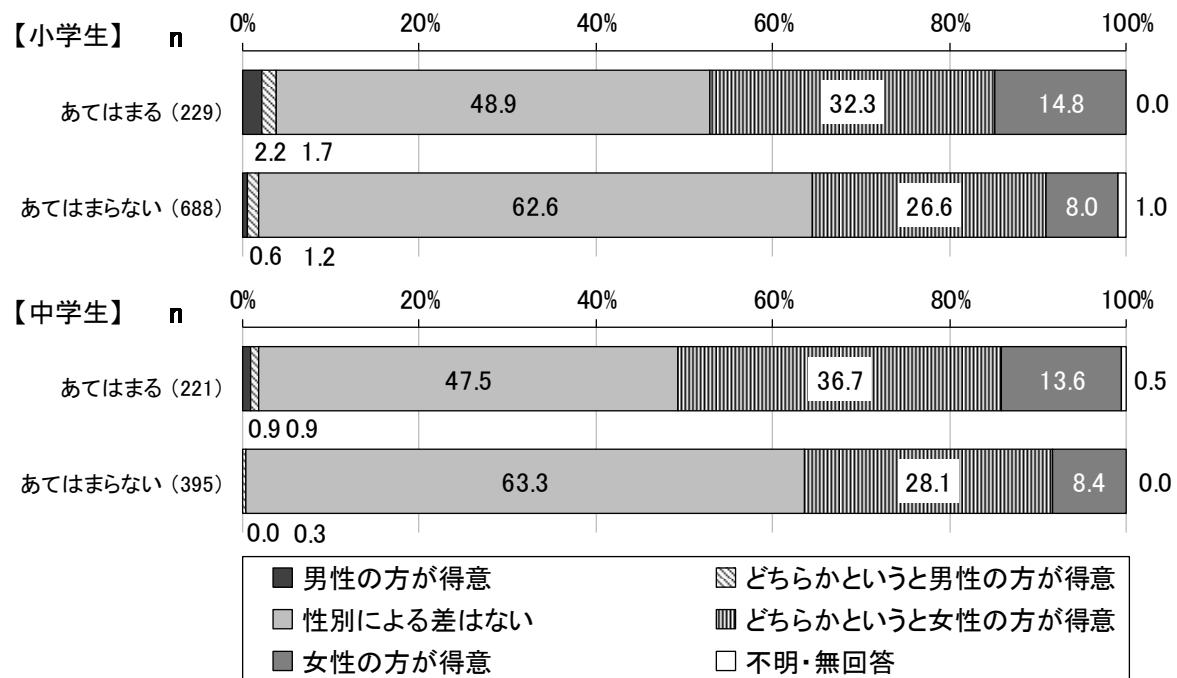
■「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験の有無別(問4)／育児の得意・不得意について

小中学生ともに、「男の子/女の子だから」と親(保護者)に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で11.4ポイント、中学生で8.8ポイント高くなっている。



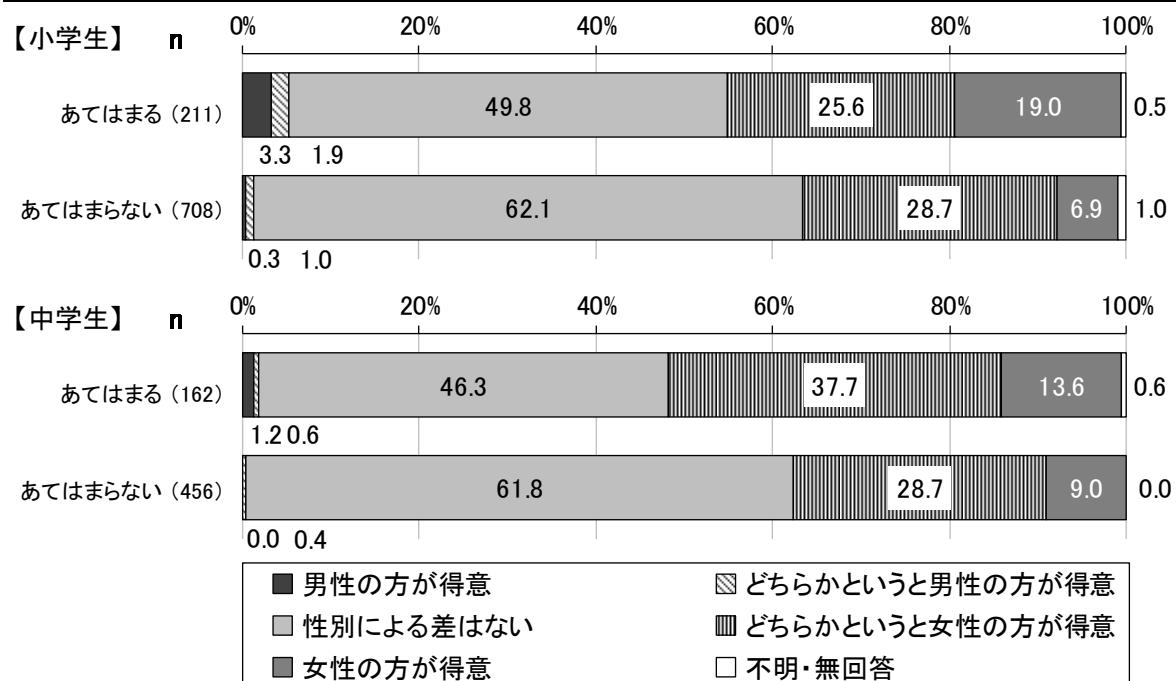
■「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言わされた経験の有無別(問5)／育児の得意・不得意について

「男の子/女の子だから」と祖父母や親戚など周りの大人に言わされた経験のある人(あてはまる)では、〈女性の方が得意〉が、小学生で4割、中学生で5割を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生で 12.5 ポイント、中学生で 13.8 ポイント高くなっている。



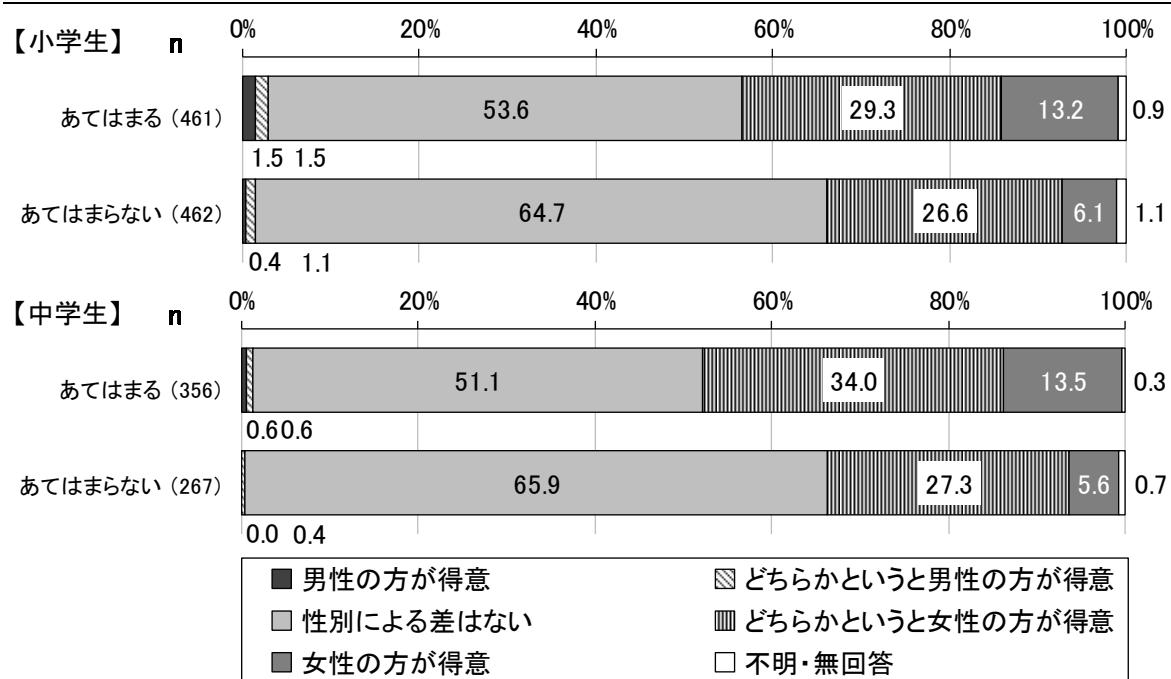
■「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされた経験の有無別(問5)／育児の得意・不得意について

小学生では、「男の子/女の子だから」と兄弟姉妹や友達に言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割台半ばと、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して 9.0 ポイント高くなっている。中学生では、言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が半数を超えており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して 13.6 ポイント高くなっている。



■「男の子/女の子だから」と誰から言わされた経験の有無別／育児の得意・不得意について

小学生では、「男の子/女の子だから」と誰から言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割台前半と、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して 9.8 ポイント高くなっている。中学生では、言わされた経験のある人(あてはまる)は、〈女性の方が得意〉が4割台後半となっており、言わされた経験のない人(あてはまらない)と比較して 14.6 ポイント高くなっている。



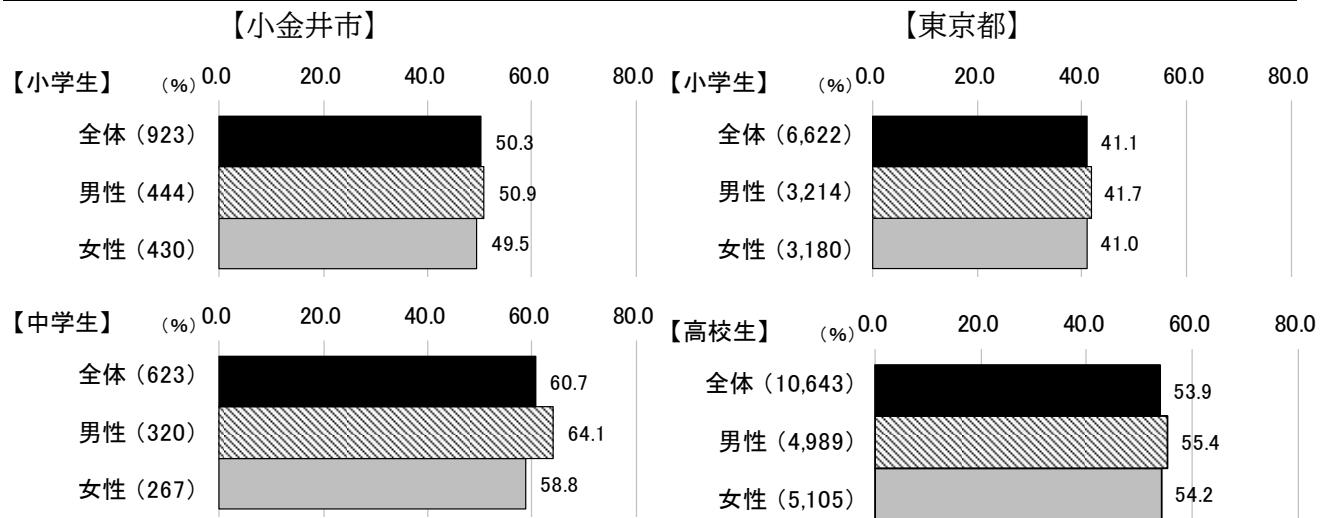
6 東京都との比較

(1)性別に対する意識

問1.「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある。

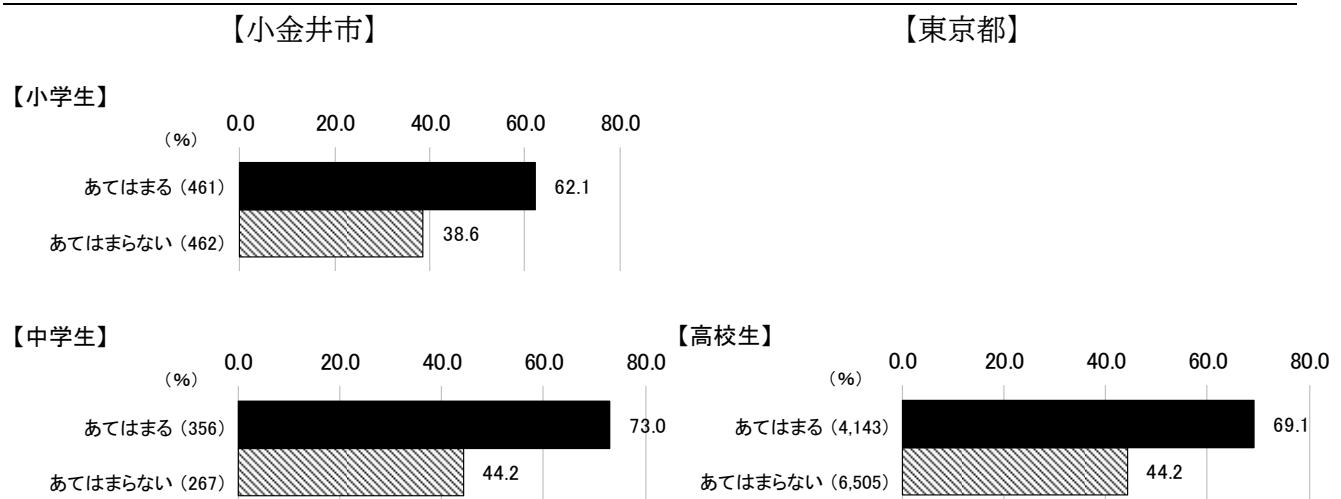
「男の子だから」「女の子だから」と思うことがあるかについて、「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせた〈思う〉が小金井市では、中学生(60.7%)が小学生(50.3%)より 10.4 ポイント高くなっている。

東京都と比較すると、小金井市の小学生(50.3%)が東京都の小学生(41.1%)より 9.2 ポイント高くなっている。



◆性別に対して言われた経験別の「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある割合の分析

「男の子/女の子だから」と誰から言われた経験のある人(あてはまる)は、「男の子だから」「女の子だから」と思うが小学生で 62.1%、中学生で 73.0%と、言われた経験のない人(あてはまらない)と比較して、小学生では 23.5 ポイント、中学生では 28.8 ポイント高くなっている。



小学生に比べて、中学生でより「男の子/女の子だから」と思う傾向がある。

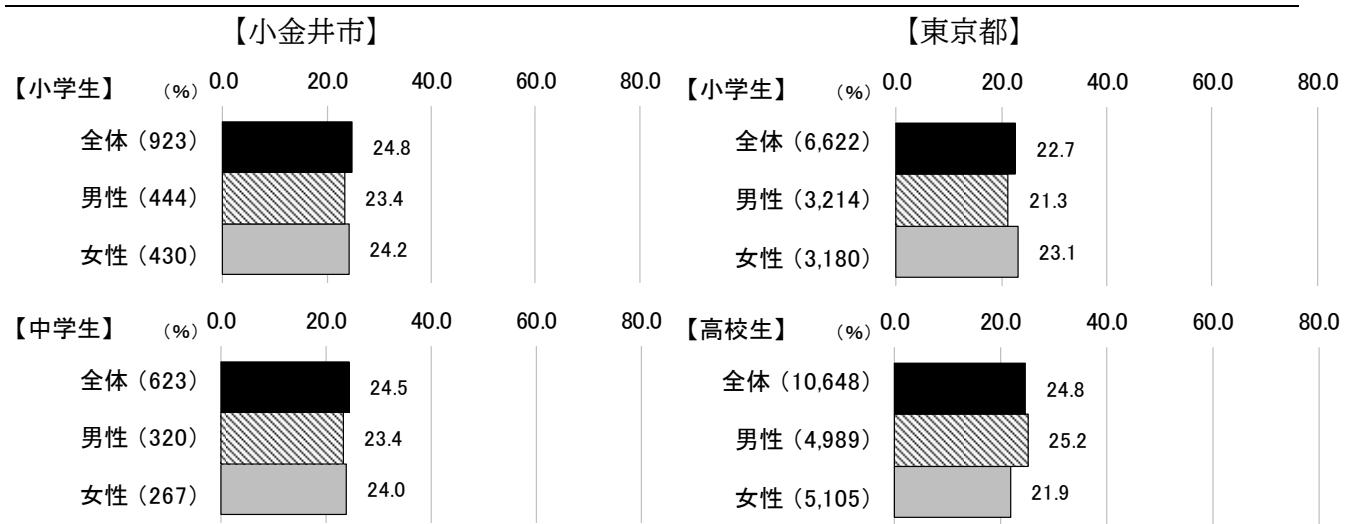
「男の子/女の子だから」と誰から言われた経験のある人の方が、自身も「男の子/女の子だから」と思う傾向がある。

東京都全体と比較すると、やや小金井市の方が「男の子/女の子だから」と思う傾向がある。

問7.性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがある。

性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがあるかについて、「あてはまる」「どちらか」というとあてはまる」を合わせた〈あてはまる〉では、すべての属性で2割台となっている。

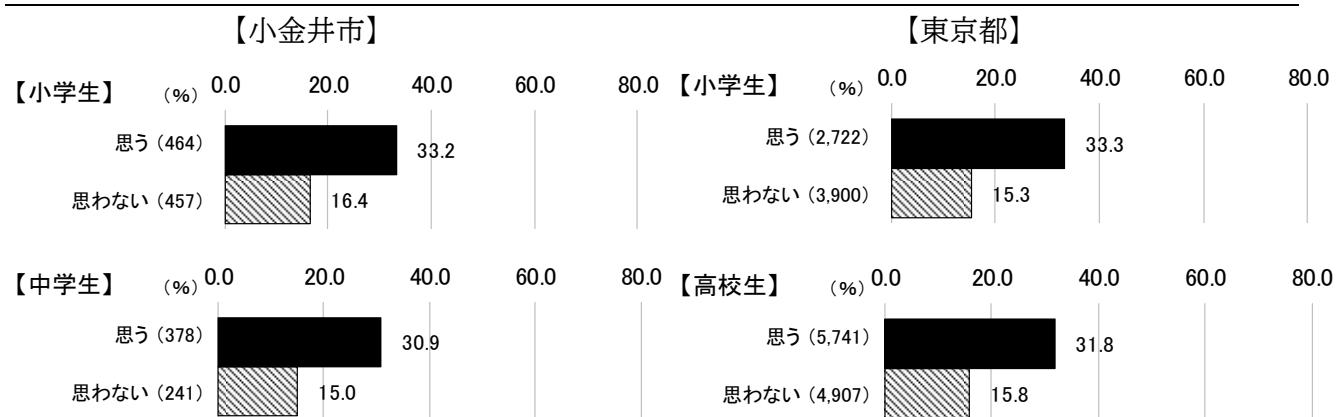
東京都と比較すると、大きな差はみられない。



◆性別に対する意識の有無別の性別を理由に、思ったことが言えなかつたことがある割合の分析

「男の子だから」「女の子だから」と思うことがあるか別にみると、思う人では〈思ったことが言えなかつたことがある(あてはまる)〉が小学生で 33.2%、中学生で 73.0%と、思わない人と比較して、小学生では 16.8 ポイント、中学生では 28.8 ポイント高くなっている。

東京都と比較すると、大きな差はみられない。



性別を理由に言いたいことが言えなかつた経験は2割程度の児童・生徒にみられる。

「男の子/女の子だから」と思う人の方が、「思ったことが言えなかつた」傾向がある。

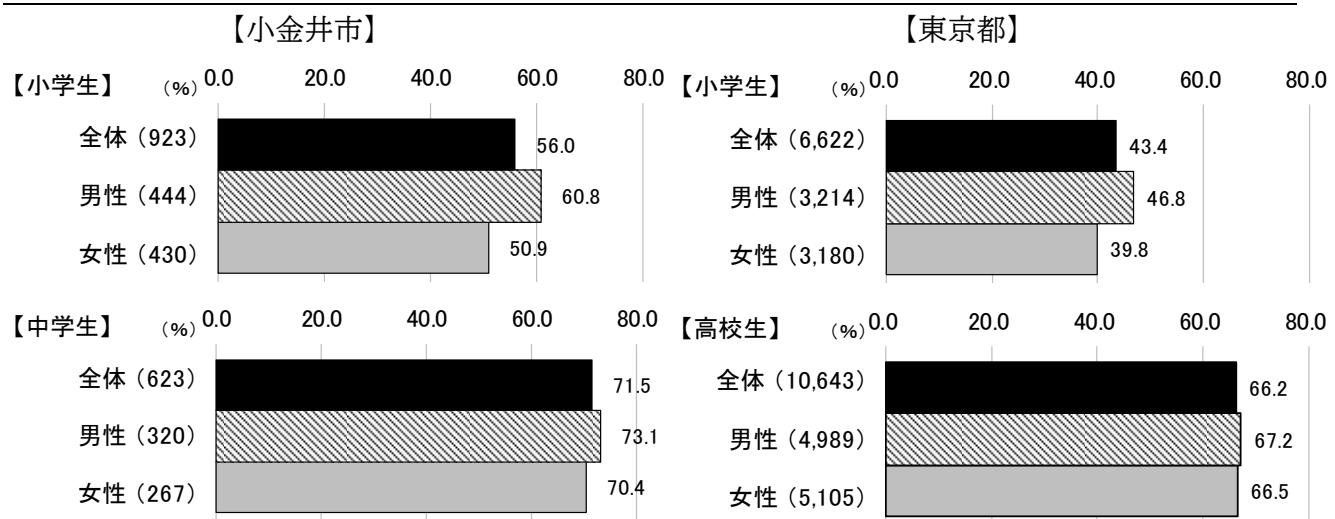
東京都全体と比較しても、大きな傾向の差はみられない。

(2)職業に対する「性別による思い込み」

問2.(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う。

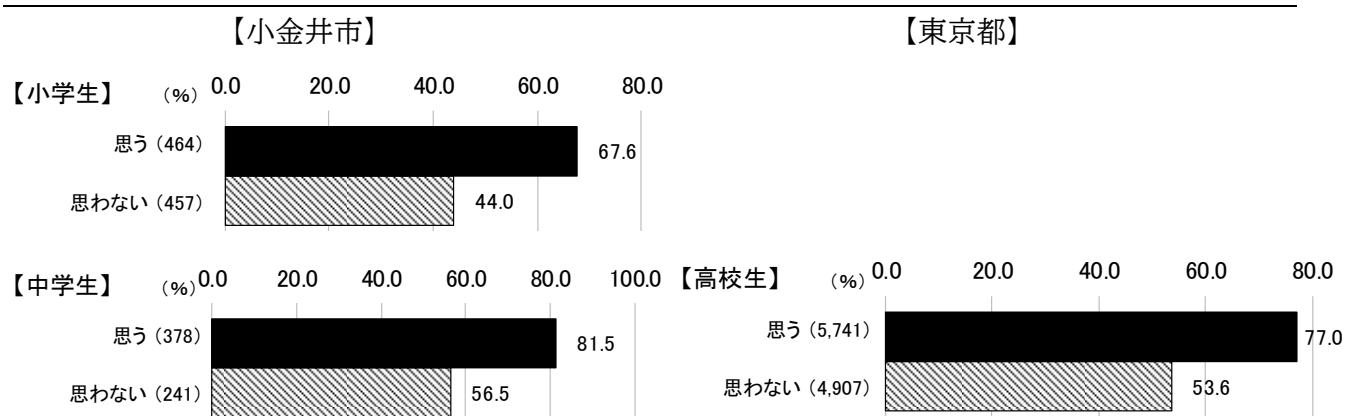
(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思うかについて、「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせた〈思う〉が小金井市では、中学生(71.5%)が小学生(56.0%)より15.5ポイント高くなっている。

東京都と比較すると、小金井市の小学生(56.0%)が東京都の小学生(43.4%)より12.6ポイント高くなっている。



◆性別に対する意識の有無別の(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う割合の分析

「男の子だから」「女の子だから」と思うことがあるか別にみると、思う人では(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思うが小学生で 67.6%、中学生で 81.5%と、思わない人と比較して、小学生では23.6ポイント、中学生では25.0ポイント高くなっている。



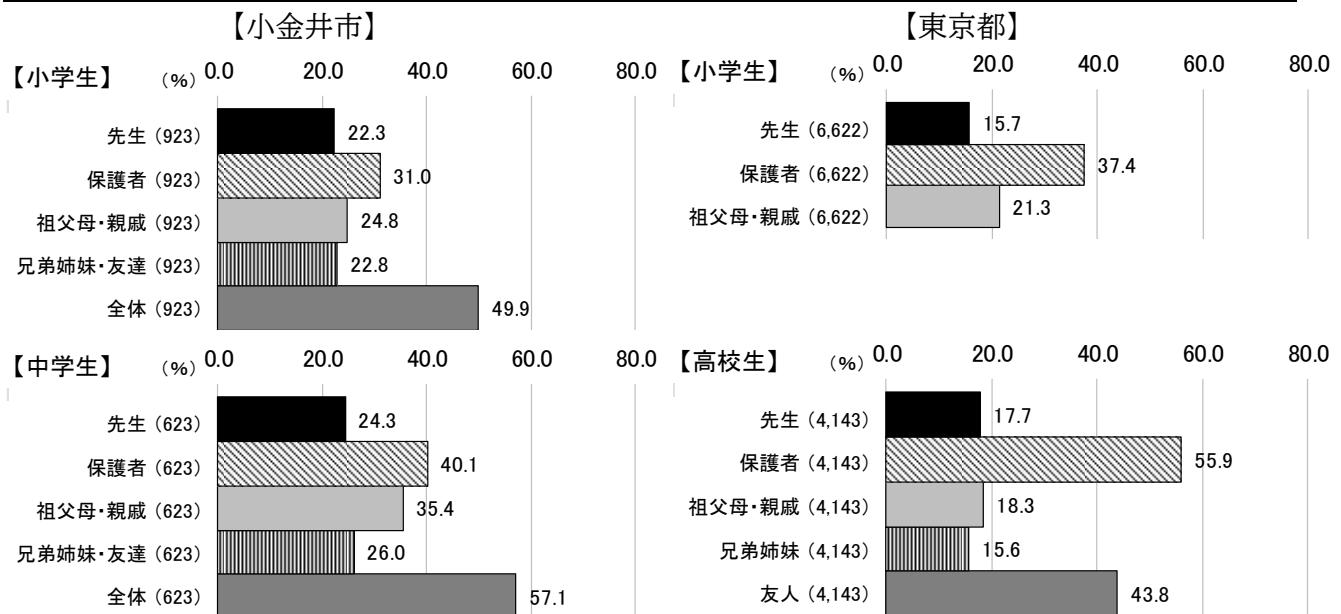
小学生に比べて、中学生でより「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がある。

「男の子/女の子だから」と思う人の方が「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がある。

(3)周囲からの影響

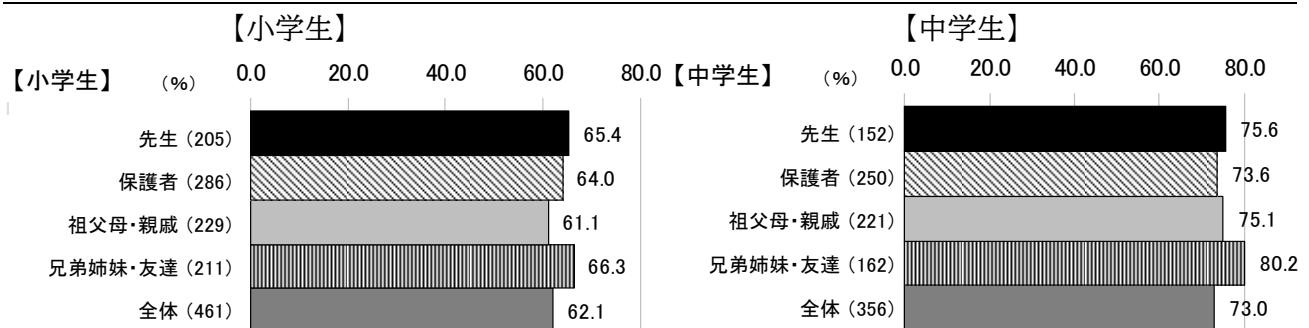
「男の子/女の子だから」と言わされた経験については、小学生で「保護者」が 31.0%と最も多く、次いで「祖父母・親戚」が 24.8%、「兄弟姉妹・友達」が 22.8%、「先生」が 22.3%で、誰かしらから言わされた経験のある割合は 49.9%となっている。

中学生で「保護者」が 40.1%と最も多く、次いで「祖父母・親戚」が 35.4%、「兄弟姉妹・友達」が 26.0%、「先生」が 24.3%で、誰かしらから言わされた経験のある割合は 57.1%となっている。



◆性別に対する意識への周囲からの影響に関する分析

「男の子/女の子だから」と言わされた人別に「男の子だから」「女の子だから」と思う割合をみると、小学生、中学生ともに大きな差はみられない。



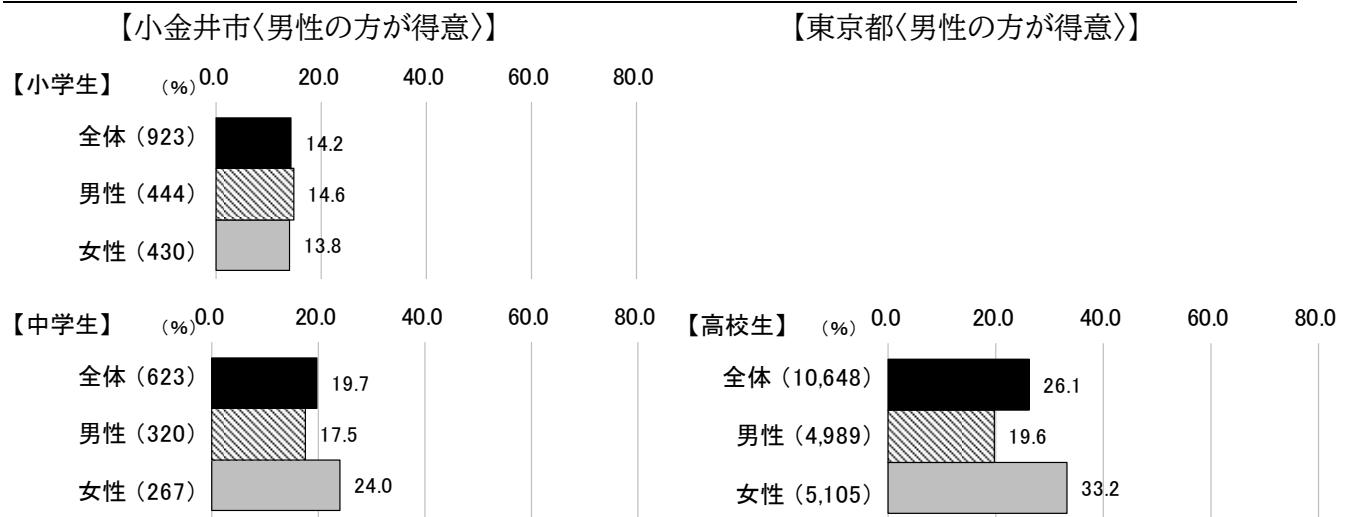
保護者や祖父母・親戚から「男の子/女の子だから」と言わされた経験が多く、誰かから言わされた経験がある割合は小学生で約5割、中学生で6割弱と高い。

言わされた人別に思う割合をみると、言わされた経験がある人数は少ないものの、「兄弟姉妹・友達」の影響を受けている割合が最も高い。

(4)教科に対する性別による思い込み

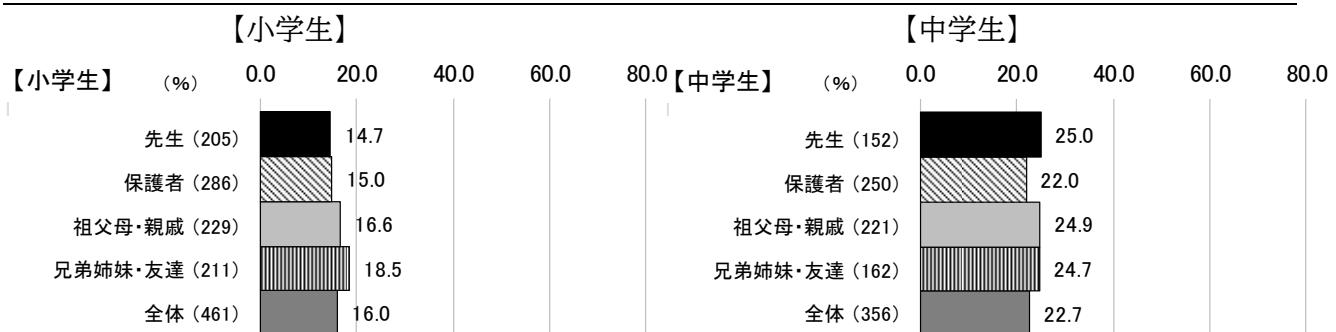
問8.算数(数学)・理科の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

算数(数学)・理科の得意・不得意について、「男性の方が得意」「どちらかというと男性の方が得意」を合わせた〈男性の方が得意〉が、小学生や中学生男性では1割台であるものの、中学生女性では 24.0%となっている。



◆算数(数学)・理科の得意・不得意に対する意識への影響の分析

「男の子/女の子だから」と言われた人別に算数(数学)・理科は〈男性の方が得意〉と思う割合をみると、大きな差はみられない。

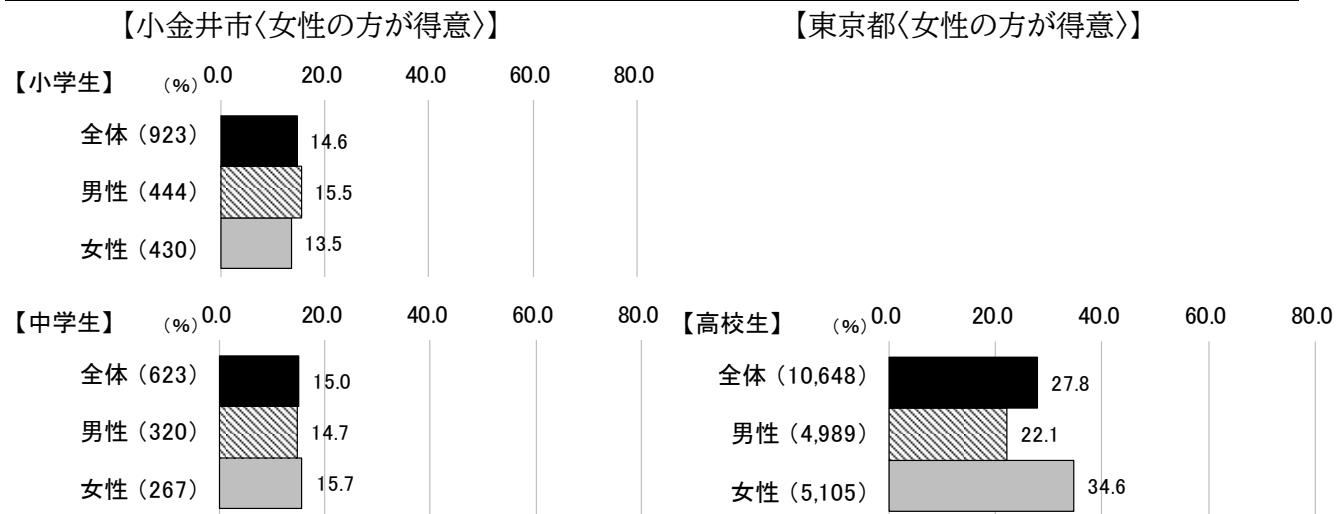


算数(数学)・理科の得意・不得意については、中学生女性でやや男性の方が得意だとする「性別による思い込み」を持っている傾向がある。

影響を与える人については、大きな差はみられない。

問9.国語・英語の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

国語・英語の得意・不得意について、「女性の方が得意」「どちらかというと女性の方が得意」を合わせた〈女性の方が得意〉が、小学生、中学生ともに1割台となっている。



◆国語・英語の得意・不得意に対する意識への影響の分析

「男の子/女の子だから」と言われた人別に国語・英語の得意・不得意は〈女性の方が得意〉と思う割合をみると、大きな差はみられない。



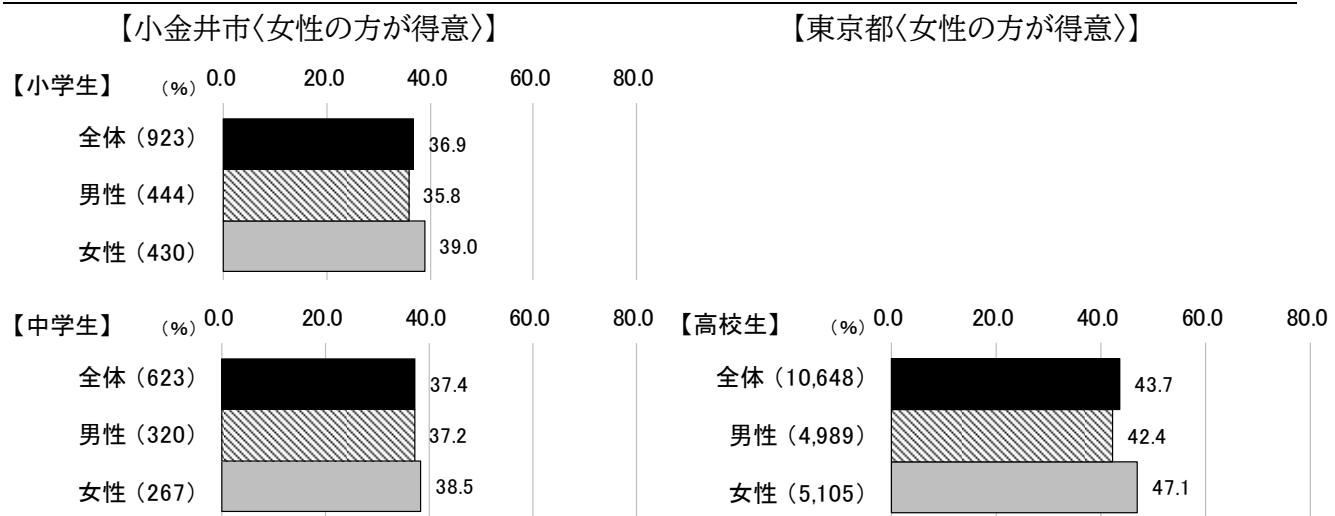
国語・英語の得意・不得意については、女性の方が得意との「性別による思い込み」を持っている傾向が1割程度となっている。

影響を与える人については、大きな差はみられない。

(5)家事・育児に対する性別による思い込み

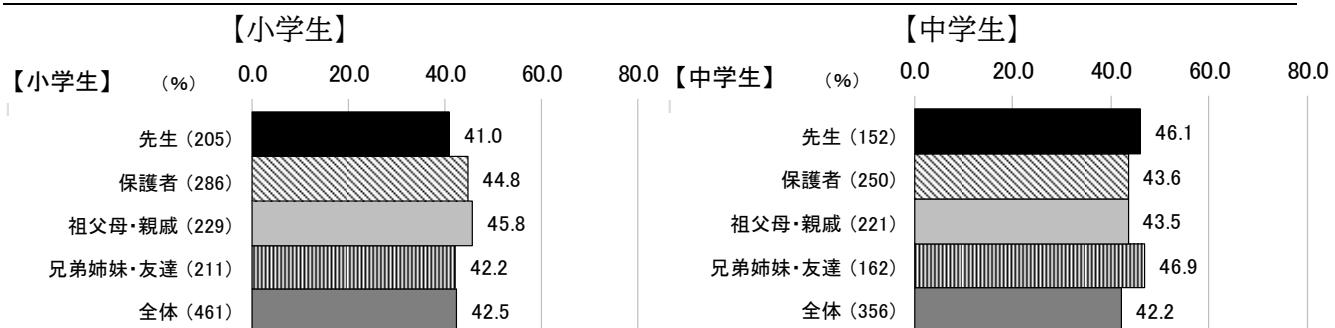
問10.家事の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

家事の得意・不得意について、「女性の方が得意」「どちらかというと女性の方が得意」を合わせた〈女性の方が得意〉が、小学生、中学生ともに3割台と高くなっている。



◆家事の得意・不得意に対する意識への影響の分析

「男の子/女の子だから」と言わされた人別に家事の得意・不得意は〈女性の方が得意〉と思う割合をみると、大きな差はみられない。



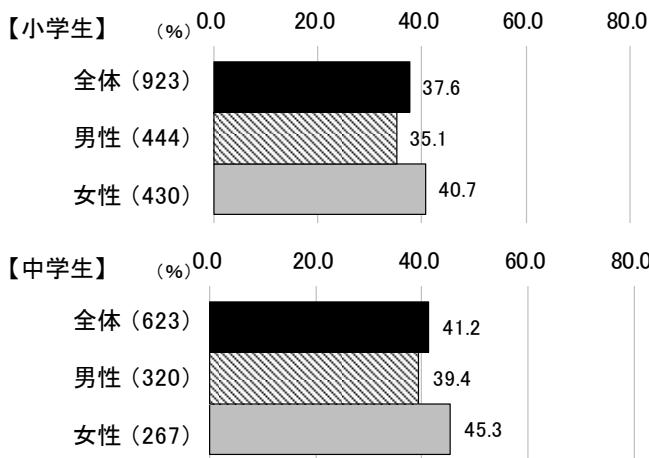
家事の得意・不得意については、女性の方が得意との「性別による思い込み」を持っている傾向が3割程度となっている。

影響を与える人については、大きな差はみられない。

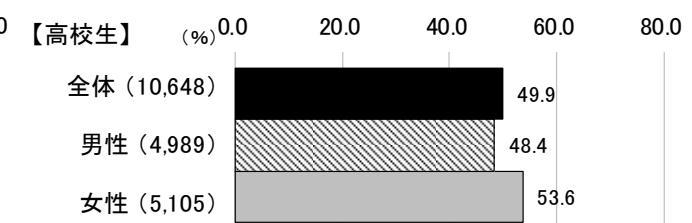
問11.育児の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

育児の得意・不得意について、「女性の方が得意」「どちらかというと女性の方が得意」を合わせた〈女性の方が得意〉が、小学生男性、中学生男性で3割台、小学生女性、中学生女性で4割台と高くなっている。

【小金井市〈女性の方が得意〉】



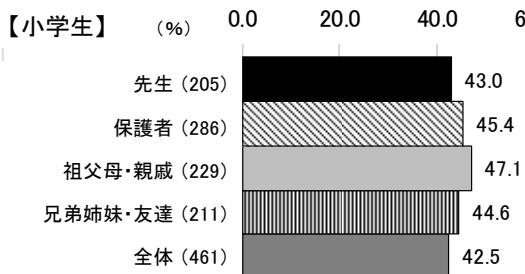
【東京都〈女性の方が得意〉】



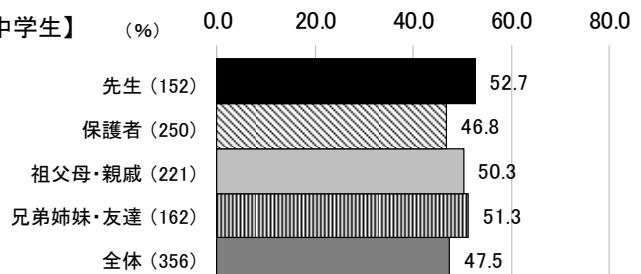
◆育児の得意・不得意に対する意識への影響の分析

「男の子/女の子だから」と言わされた人別に育児の得意・不得意は〈女性の方が得意〉と思う割合をみると、大きな差はみられない。

【小学生】



【中学生】



育児の得意・不得意については、女性の方が得意との「性別による思い込み」を持っている傾向が3～4割程度と高くなっている。

影響を与える人については、大きな差はみられない。

7 自由記述

◎あなたが考える男女平等について、自由なご意見をお聞かせください。

あなたが考える男女平等について、自由に記述していただいたところ、小学校6年生から671件、中学校3年生から366件の貴重な意見をいただいた。一人で2つ以上の内容にわたって記述されているものもあるため、件数は延べ件数となる。

以下は内容を分類し、特に多く寄せられた意見の中から代表的なものを抜粋して掲載するとともに、傾向についてまとめたものである。自由記述は原則として原文のままを掲載している。

No	カテゴリー	小学校 6年生	中学校 3年生
1	差別の撤廃	324	143
2	個性・意思の尊重	172	97
3	社会全体への意識改革と現状認識	28	37
4	学校生活	25	7
5	働き方・家事・育児	15	12
6	性差の認識と区別の必要性	14	38
7	能力の尊重	12	10
8	その他/特になし	81	22
合計		671	366

◆差別の撤廃

小学生は「男の子だから」「女の子だから」といった言葉への違和感を素直に表現し、性別に関係なく同じように扱われることが平等だと考える傾向がある。

一方、中学生は性別の枠組み自体への問いや、ジェンダー平等・教育の重要性など、より社会的・構造的な視点から深く考察している。年齢とともに、平等や差別の撤廃への理解が身近な体験から社会全体の課題へと広がっていることがうかがえる。

【小学校6年生】

- ◆ どちらも「男の子だから」や「女の子だから」など関係無しで、受け入れること。
- ◆ 「男だから」とか「女だから」という言い方や態度や扱いがないものが男女平等なんじゃないかと思います。また、性別は男と女ののみと決めつけず人それぞれの性別で同じ扱いなどをされることだと思います。
- ◆ 差別などをなくせば、男女平等になると思います。
- ◆ 女子だからこうしなくちゃいけないとなんとなくの社会の常識があるのはおかしいと思います。
- ◆ 男子と女子が「女子なんだから○○しないで」「男子なんだから○○やって」などと性別によって差別されることなく自分が得意なことでみんなのためになれると思う。
- ◆ 女子だから、男子だからと言ってやらないのではなく、苦手でも進んでやるのは大事だと思います。

- ✧ 「男の子だから～」、「女の子だから～」などがないことが男女平等だと思います。
- ✧ 私は、男女で、できるできないなどと変わることはなく、同じ権利があると思う。
- ✧ 男子は、強いとか、女子は、弱いみたいな偏見を普段から持っている人もいるからそういう偏見をなくすところから始めてほしい。
- ✧ 女性と男性が仕事などで平等で扱われる社会になったほうが良い。

【中学校3年生】

- ✧ こういうアンケートがなくなるような環境こそが、男女平等。
- ✧ お互いが過ごしやすく生活できることを平等というと思った。
- ✧ 男女平等を主張することも大事だけど主張しすぎると逆に差別になりそう。
- ✧ 固定概念をなくしてほしい。
- ✧ 男女で態度を変えることをなくしてほしい。
- ✧ 平等の基準は人それぞれだから難しい。
- ✧ 性別の先入観を捨て接すること。
- ✧ どちらかを優遇・特別扱いではなく、ただ同じように扱う。
- ✧ 差別しない。
- ✧ 同じ状況下で過ごし、両者それ以上のことを見まないこと。
- ✧ そもそも男女という枠はただの生物学的で単純な話で、その枠に当てはまらない人も当然いる。性差があるとすれば体格の傾向ぐらいで、なぜ今性別によって得意不得意が別れているように思えるのかは、メディアや周囲の人間からの刷り込みのせいである。男女平等ではなくジェンダー平等で、性別に限らず、人種や生い立ちなどからの差別的な意識や行動がなくなることが最終的な目標だと思う。誰もが理不尽に差別されたり、理不尽に押し付けを受けたり、理不尽に暴力を受けることのない社会づくりが大切なのであって、そのためには若いうちから、なんなら幼児からでもしっかりと平等的な意識をもたせる教育に力を入れるべきだと思う。
- ✧ 男女平等、LGBTQ+、などの名前がなくなるほどに当たり前の文化として受け入れられる社会になってほしいと思います。性自認について悩んでいる人がいたら、みんなで寄り添えるような人が少しでも増えたら嬉しいです。ですが、男女平等とはいえ、男子じゃないから殴ってもいいだろう、というような考えは話が別なので、そこの線引きはしっかりとできる人がいるといいなと思います。
- ✧ できる範囲で唱えていくのは良いかもしれないが、やり過ぎてどちらかが上に立ってしまうのは良くない。
- ✧ 女の子だから身だしなみや言葉遣いがきれいじゃないとダメみたいな風潮はやめてほしい。逆に自分も女だから笑顔でいなきやとか気にしてしまうのも辛い。

◆個性・意思の尊重

小学生は「男の子だから」「女の子だから」といった言葉に違和感を持ち、性別に関係なく自分の好きなことを自由に選べる社会を理想としている。職業や服装、色の選択など日常の中で個性と意思が尊重されることを重視している。

一方、中学生は「男だから」「女だから」といった性別による制限に疑問を持ち、個人の自由な選択を重視している。LGBTQ+など多様な性のあり方も含め、誰もが自分らしく生きられる社会の必要性を論理的に捉えている。性別にとらわれず、個性や希望に応じて生き方を選べることこそが本当の平等だと考えている。

【小学校6年生】

- ✧ 女性が働いてもいいし、男性が家事をしても良い社会になってほしい。そしたら不満がなくなると思う。
- ✧ 男女でできることは様々だと思うけどそれは、個人差だと思いました。だから、「男だから」などのこととは言わないほうがいいと思う。
- ✧ どんな姓を自認していても、認めてもらえる世界。
- ✧ 女の子だから男の子だからと行動を制限されずに、このようなアンケートもする必要がなくなるのが平等で理想だなと思います。
- ✧ 保育士や看護師は女性の仕事、パイロットや社長は男性の仕事、などの考え方がある職業があるので、そのような考え方をやめたほうが良いと思う。
- ✧ 私が考える男女平等とは、男女関係なく意見を言ったり、仕事をやったり、スポーツをやったり、料理をやったり、などということです。
- ✧ 男女関係なく「男の子だからそれ」や「女の子だからそれ」などを言われずに自分の好きなことをして良い。
- ✧ 自分の個性に合わせて生活をすると良い。自分が男だからじゃなく自分の個性と考える。性別によって悩むことはないと思います。私は親に女の子なんだからとか言われて傷ついたので女の子のお友達などが性別について悩ませられていたら相談に乗ってあげたいです。個人的な話なんですけど女の子が無理に男の子を好きにならなくていいと思います。反対する人もいるだろうし賛成する人もいるかも知れないその中で私は賛成です誰が誰を好きになってもいいと思います。同性婚も良きだと思います。
- ✧ 今でも、男子は髪を切っている。女子はボブ以上ぐらいで髪を伸ばしているという考え方を持つ人がいるし。親も、弟が「俺かみ伸ばそうかな！ハーランド（サッカー選手）も伸ばしてるし！」と言ったら親は「髪切ったほうがかっこいいよ！男の子だし、、、」と言っていました。それを聞いた私からしたら「え！？今ってジェンダー平等な時代じゃないの？」（心の声）と思いました。だから、まだ男女平等な社会に完全には到達していないと思います。
- ✧ 最近はランドセルの色とか、服装については女の人は色んな色があつたり、ズボンとかがあつたりするけど男の人の方はまだ黒が主流だったり、暗い色しかなかつたり、スカートを履く人があまりいなかつたり、男の人の方は男女平等についてあんまり進んでいないと思う。
- ✧ 男子だからこうしなさい、女子だからこうしなさい、またはあれをやりなさい、これをしちゃだめ、などのようなことは、差別になって悲しむ人や苦しむ人がいるかもしれない、絶対にやってはいけないと思う。みんなが自分の夢や職業につけるようになることが大切だと思う。

- ✧ 好きなことをみんなできるような世界になれば、男女平等になると思います。
- ✧ 女の子だから工事現場で働けないのはやだ。男の子だから力が強いのはヤダ。
- ✧ 男の子だから「あお」女の子だから「ピンク・あか」とかを無くせるような世界にしたい。ランドセルも男の子がピンクのランドセルを、女の子が青・くろのランドセルを選んでもいいけどお母さんが、ピンクのランドセルで子どもがからかわれないか、いじめられないか心配することもあるかもしれないけどその心配もなくせるような世界にもしたい。
- ✧ みんな男女差別がない、やりたいことを自由にできるみんな笑える世界。
- ✧ 男女で向いている仕事などはあると思うけど男女ではいけない仕事はないと思う。
- ✧ 女の子だから、男の子だからという理由でやりたいことができなかつたりするのは男女不平等だと思います。男女ともにやりたいことがやれて、寄り添い会えるのが男女平等だと私は思っています！！
- ✧ 男子女子関係なく、スポーツやらを楽しんだりすること。女子でも、野球、サッカーやっても良き。男子でも、ダンス、バレーなどをやっても良き。
- ✧ さっきのアンケートのように、将来の職業などについて性別の違いでなりやすい職業、なりにくい職業、やりやすい職業、やりにくい職業の差をなくすこと。（もし、男性の方が就きやすい職業に女性が就けても、「女性だから」と信用されにくかったり。）

【中学校3年生】

- ✧ だれでも自分のやりたいことを、性別を理由に制限されずにできること。
- ✧ 「男だから」「女だから」そういうことで、生き方や選び方が左右されないということ。
- ✧ 適材適所で差別なくそれぞれが能力を十分に発揮できることが男女平等だと思う。
- ✧ 体格の問題などで男女に多少違いはあるが、それ故にしたいことが制限されてしまうのは違うし、それぞれ多様な考え方を持つことが大切だと思う。
- ✧ 性別関係なく、それぞれがしたいことをするのが平等だと思う。また、性別によって区別するのはその人自身の努力や己の尊重に反すると思う。
- ✧ 何でもできる
- ✧ 誰が何をしても何を行っても同じものとして扱うべきだと思います
- ✧ 女性・男性に関係なく、全員が同じ量の可能性を持っている必要があると思う。特に進学や就職などの進路を決めるときに、女だから、男だからといって、諦めることは絶対にあってはいけないと思っている。また、”男女””平等”という呼び方に個人的に納得がいっていない。なぜなら、この世の中には、LGBTQ+など、今までの”男女”の方に当てはまらない人がいて、その人達のことを考えていないように感じるからだ。
- ✧ 男女という価値観を一人の人間としてみること。
- ✧ 男性だから、女性だからといった理由で制限されることなく、自由な選択ができればいいと思います。ただ、性別による差は事実として少なからずあると思います。ただ、それを理解したうえで、誰かの思いが制限されることはなくなればいいなと思います。
- ✧ そもそも、男女平等と行っている時点で、男女の差を意識してしまうと思う。性別関係なくただ一人の人だと考えたほうがいいと思う。
- ✧ 平等にすることは大切だが、やはり差があるからこそ豊かになるものがあるし、もともと差があるものだから無理にならうとするのではなく、たとえ男女で傾向が分かれるとしても個人の得意不得意で考えるべき。あまり意識しすぎると逆に生きづらい。

- ◆ 男だから女だからという理由で夢を諦めたりしないこと
- ◆ 女も男も自由にファッショントを楽しんで良い
- ◆ 女子も青やかっこいいものを好きになっていいし、男子もピンクや可愛いものを好きになってもいい。女子だから、男子だから、と決めつけない。
- ◆ 得意なこと苦手なことは、絶対にあるのでそしてそれは男だからでも女だからでもないので人の個性として見るのが大事だと思った

◆社会全体への意識改革と現状認識

小学生は、男女平等の理想を理解しつつも、現実には性別による偏見や不安が残っていることを素直に受け止めている。法律や歴史への関心も見られ、意識改革の必要性を感じながらも「難しさ」や「違和感」を率直に表現している。

一方、中学生は社会構造や潜在意識、メディアの影響などを踏まえ、平等の実現には深い課題があると捉えている。過剰な主張や思想の押し付けへの懸念もあり、冷静かつ多面的に現状を分析する傾向が強まっている。

【小学校6年生】

- ◆ 今の日本は性教育や男女平等の意識が他の国に遅れている。
- ◆ 勉強などは、やればできると思うから男女はあまり関係はないと思うけれど、他の面ではやっぱり「女の子なんだからしっかりしなさい」と言われることもあるから男女平等は良いけれど、難しいことなのかなと思っています。
- ◆ 日本には男女平等について様々な法律(男女雇用機会均等法、男女共同参画社会基本法、ジェンダーなどのことです)がある事は知っています。過去にも差別があって女性にとって不利だったのだから、それは、男女平等は意識すべきだと思います。(逆に男性不利も避けたいけど)
- ◆ まだ男女平等は完全にできていないけれど、「女の子」「男の子」と言わわれることはまだあるのかなと思う。
- ◆ 男女平等と口で言っても最後は理想なわけであり、現にしっかり平等になっているわけではない。なのでまずはどちらが○○という考えを減らした方が良いと私は考える。しかしそれを実現することはむずかしいと思う。
- ◆ 最近は昭和などよりも男女平等に厳しいからそこまで問題はないと思う。男女平等論もあるし。
- ◆ 色々な考え方があると思います。人によってはちょっと怖いなって思っている人もいればどんどん混ざりたいつと思う人もいます。なのでそこの違いがあるのかつと思いました。
- ◆ 自分のなりたい将来が、男性ばかり(私は女性です)なので未来が心配です。
- ◆ 確かにできるだけなくしたほうがいいのはわかっているがやっぱり性別で分けてしまう。

【中学校3年生】

- ◆ インターネットなどでは女性も男性も互いを罵り合ったり偏見を押し付けたりしているなあと言う印象。
- ◆ 「性別がこうだからこれはできない」という考えを社会全体が持たなくなつて初めて男女平等になるとと思う。

- ◆ 思っていないくとも、○○は女の人のほうが得意なイメージとか△△は男の人のイメージなどの植え付けられてしまっているイメージがなくなること。小さいときから感じてしまっていたら消えない！！
- ◆ 意識の根底にはやはり男性だから女性だからという潜在意識があると思うため男女平等はムズかしい問題だと思う。
- ◆ 実現できないと思う。
- ◆ 最近の社会では男女平等を糾弾しすぎていると考える。
- ◆ みんなが平等ならいいなと思うけど最近は意識しすぎて女性の方を保護しすぎていると思うこともあった。思想を強要するのは良くないと思った。
- ◆ たしかに男女差別がなくなることは大切だと思うが、今まで生きてきた中でたくさん男子だから、女子だからと言われてきたので考え方は変わらない気がする。
- ◆ 男女平等は人間の自由の権利として当然あって良いと思いますが、過激になって他の人を傷つけたりする方向でその呼びかけをするのは良くないと思います。平和に進められれば良いと思います。
- ◆ 男女の平均的な身体能力には必ず差ができてしまうし、身体的特徴も異なる。さらに男女平等の声が強くなった令和以前まで、「男は外、女は中」というような風潮があった社会だったが、それでも今日まで社会が継続しているという事実もある。しかし、私の母親は「女は大学にいかなくていい」と言わわれ、金銭的な理由もあり大学にいかせてもらえたかったという話を聞かされており、ニュースやネットでトランスジェンダーの人や同性愛の話を聞くと、認められてよかったです反面、今まで受けられなかったという事実があったことに心を痛めることもある。ほかにもインターネットで知ったこと等、それら諸々加味して意見を述べるなら、学歴や雇用の面、トランスジェンダー、同性愛、この3つは男女平等を認められるべきだと思う。

◆学校生活

小学生は、先生や友達による性別による扱いの違いや設備面での不公平に敏感で、学校生活の中で男女平等が十分に実現されていないと感じている。更衣室の整備や注意の仕方など、具体的な場面での意見が多く見られる。

一方、中学生は、教師の言動や体育のルールなど制度的な面に注目しつつ、平等が少しづつ浸透してきた実感も持っている。年齢とともに、身近な違和感から制度や意識の変化への観点へと広がっている。

【小学校6年生】

- ◆ 同級生でも女子だから男子だからとか決めつけていじめてくる人がいるから、そういうのを言わない社会にしていかなければいけないのでないかと思います。なので男女平等はまだ全然できていないと思う。
- ◆ まず先生が言っていては子どもも真似してしまい男女差別が生まれる。
- ◆ 男子更衣室を作ってほしい。
- ◆ 班でグループを作るときなど。
- ◆ 女子更衣室だけあるのはおかしいと思う。男子だってゆっくり着替えたいから男子更衣室もあってほしい。
- ◆ でもたまに、先生によっては、女子が喋っているときには、怒らないのに男子が喋っているときは怒る先生がいるのでおかしいと思ってます。

- ◆ 先生が女の子には注意しなくても男の子だったら強くあたっていたという事をよく目撃するのをなくしたい。

【中学校3年生】

- ◆ だいぶ前から男女差別をなくそうと言っている割には教師など大人が女の子なんだからといってきた。
- ◆ 長距離走の距離を男女ともに1500m、または1000mに統一する。
- ◆ 身の回りが結構男女平等が生活に浸透しており先生たちも発言には気をつけてる素振りが見られました。

◆働き方・家事・育児

小学生は、家事や育児の分担に対して素直な疑問や理想を持ち、性別に関係なく協力し合うことが平等につながると考えている。家庭や学校での経験を通じて、意識の変化を実感している様子も見られる。

一方、中学生は、育休制度や職場での役割分担など社会的な仕組みに目を向け、性別による役割の固定化に対する賛否を含めた多様な意見を持っている。年齢とともに、個人の体験から社会全体の働き方への視点へと広がっている。

【小学校6年生】

- ◆ 大人になったとき育児はお母さんが赤ちゃんを産んでいるから女性の方が得意だと思う。平等にするために男の人が家事をすれば平等になると思う。
- ◆ 今は男性も女性も育児休業がとれる社会になっているが、やはり男性がそれを取る機会は少ないため、もっと支援するべきだと思う。
- ◆ 男子も女子も性別が違うだけで同じ人間だと思っています。学校の先生の教え方で、4年生のときは、性別による差があると思っていたけれど、考え方方が変わりました。テレビでも、男女関係なく家事を分担している家があるという事を言っていたので、あまり変わらないと思います。
- ◆ 男女は平等な方が良いし、将来、家事や育児をすべて任せられると考えると、自分のやりたいことができないし十分な睡眠を取れなかったり、それでやってもらおうとしても反抗されたらとてもつらいと思う。だから、男性にも家事や育児をしてほしいし男女平等で一緒に家事や育児でなくてもやったほうが良いと思う。
- ◆ 家事は男性でも触れる機会が少ないだけで差はないと思います。
- ◆ 家ではお母さんもお父さんもご飯を作ってくれるからそれが少ないのでびっくりした。そういう家がふえると良いと思った。

【中学校3年生】

- ◆ 男女ともに、仕事をしたり、育休を取ったりできる。
- ◆ 仕事、家事、収入ともに男女で差がない。性別関係なく意見を言うことができる。
- ◆ 会社などで上の職(社長など)につける女性が増えたらいいのかもしれない。
- ◆ 家事は女性がして、働くのは男性とかいうのは違うと思う。
- ◆ 働き方は昭和時代後期のような男が働いて女は育児という方針のほうがいいと思う。

◆性差の認識と区別の必要性

小学生は、男女の違いを認めつつも「差別」ではなく「配慮」が必要だと考え、スポーツや体格面での安全性から性差を意識する意見が見られる。

一方、中学生は「差別」と「区別」の違いを明確に捉え、生物学的な違いを前提にしながらも、互いの得意分野を認め合い、尊重し合うことの重要性を強調している。年齢が上がるにつれて、性差に対する理解はより抽象的かつ論理的に深まり、「平等」と「違い」の両立を模索する姿勢が強まっていく。

【小学校6年生】

- ◆ 私は、男女で平等にしたほうがいいと思うんですけど、男女で関わるときには、嫌なときもあると思います。平等だからといって、すべてが平等ではなくて少しほは、不平等なところがあってもいいと思います。
- ◆ 女、男っていう完全な差別とか、「あなたは女だから」とかっていう決めつけはやめておいたほうがいいと思います。でも流石に「配慮」はあってもいいかなって思います。
- ◆ 男女平等はいいが、スポーツなどでは分けたほうがいいと思う。
- ◆ 基本的には一人ひとりが自由に生きる権利があるのでそのへんは自由でいいと思うけど、ボクシングなどは性別による体格の差があって、危ない面もあるからそのへんは性別が一緒のほうが安全面としていいと思っている。

【中学校3年生】

- ◆ 体のつくりに差があるので、すべてが平等になることは難しい。男尊女卑とか、女尊男卑の考えが減ればいいと思う。
- ◆ 男女でできることが変わったり選択肢が少なくなったりするのは平等ではないけど、平等だからといえ区別をなくすのは違うと思う。
- ◆ 男性と女性で得意なものが違うなら認め合って支え合えばいいと思う。
- ◆ 男女で差があるのは当たり前のことだから、平らにするのも大事だが、違いも受け入れる。
- ◆ 何でもかんでも揃えようとするのはどうかと思う。
- ◆ 男尊女卑だったり女尊男卑は良くはないと思うけど、体の構造的に違うわけだし、完全な男女平等なんてないと思います。また、男女平等を唱えながら一方的な不満を言うのも違うと思います。
- ◆ 差別と区別をしっかりと分けることが大切。違いは必ず生まれるものだからこそ、それは区別する必要がある。
- ◆ 下手にジェンダー平等とか言わずに、生物学上の男女の違いを大切にしてチャンスをある程度同じくらいにすること。
- ◆ どちらの性別だからしてはいけないというふうに否定するのは良くないけれど、どちらの性別だからこそできることもたくさんあると思うので、それらを伸ばすのはいいことだと思う。
- ◆ 男女で分けることは大切だとは思うがそれによって差別や決めつけなどのことをしてはいけないと思う。ただ精神的な区別と身体的な区別を一緒にすることはあまり良くないんじゃないかと思う。

◆能力の尊重

小学生は、能力は性別ではなく努力によって決まるという考え方を持ち、誰もが自分の得意を伸ばせるべきだと考えている。性別による得意不得意の決めつけに疑問を持ち、個人の可能性を尊重する姿勢が強く表れてい。

一方、中学生は、体力差や環境の影響など多面的な要因を踏まえつつ、制度的な配慮や公平性のあり方に対して批判的な視点も持っている。年齢とともに、能力の尊重に対する理解がより複雑で現実的なものへと深まっている。

【小学校6年生】

- ✧ 正直、人の能力の差は、その本人の努力次第だと思っています。なので、女だから、男だから、できる、できない、向いている、向いていないなどはないと思います。なので、やりたいことを性別を理由にやらないなどということをする必要はないんじゃないのかな。と私は考えています。
- ✧ たとえ異なる分野で優れているとしても、男女は平等であるべきだと私は信じています。
- ✧ 男子がいっぱいいるから、とかは考えることははあるけど、「男の子だから算数が得意」や「女の子だから国語が得意」などは違うと思います。なぜかというと、その人はその人で性別関係なく得意不得意があると思うからです。
- ✧ 男の人も女の人も、いいところがあるけど、みんなが、練習とか勉強とかをしたら、同じぐらいの得意さになると思うから関係ない。

【中学校3年生】

- ✧ 最近の「男女平等」は少し枠組みが変わってしまったと思っている。昔は男女差別をなくす運動が正しい人だった。今も、正当な方法で男女差別をなくそうとする人がいる。しかし、最近は「平等」が「公平」になってしまった。持つものが不利になり、努力しないものが有利になる。いつからこうなったのだろうか。
- ✧ 体力差や、体格差などが違うのはしょうがないけれど、それを人に押し付けたり、常識だから、というのは違うと思う。また、教科や家事育児の得意不得意は育ってきた環境や、好き嫌いがあるし、家事育児が得意な男性がいても、機械が得意な女性がいてもいいと思うし、変でもない、と思う。
- ✧ 女性の理系が現在少ないために女子に理科系の興味を持たせるため理系大学の女子枠を増やすなどをおこなっているが、一般枠を食っているのが問題となっている。ので、無理に女子枠を増やさなくとも、女子の理系が少ないという事実があるのならその事実を尊重し無理に女子に理系を目指せなくていよいよなもっと抜本的な男女平等意識が必要だと思う。
- ✧ 男女関係なく、得意不得意はある

小金井市性別による無意識の思い込みに係る
小中学生アンケート調査結果報告書

発行:小金井市 企画財政部 企画政策課 男女共同参画室
電 話:042(387)9853
FAX:042(387)1224

発行年月:令和7年12月